

ミャンマー連邦共和国
初等教育カリキュラム改訂プロジェクト
実施協議報告書

平成 28 年 4 月
(2016 年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

人間
J R
15-103

ミャンマー連邦共和国
初等教育カリキュラム改訂プロジェクト
実施協議報告書

平成 28 年 4 月
(2016 年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

目 次

略 語 表

事業事前評価表

第1章 調査・協議の経過と概略	1
1-1 プロジェクト形成の経過と概略	1
1-2 詳細計画策定調査の概要	2
第2章 プロジェクト概要	4
2-1 プロジェクト概要	4
2-2 基本方針	4
2-3 対象教科	5
2-4 プロジェクトの内容	7
第3章 評価5項目による評価結果	12
3-1 妥当性	12
3-2 有効性	12
3-3 効率性	12
3-4 インパクト	13
3-5 持続性	13
3-6 結論	13
第4章 詳細計画策定調査団 団長所感	14
資料	
1 討議議事録 (Record of Discussions : R/D)	17
2 協議議事録 (Minutes of Meeting : M/M)	35

略 語 表

略 語	正式名	日本語
ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
C/P	Counterpart	カウンターパート
CCA	Child-Centered Approach	児童中心型教育
CESR	Comprehensive Education Sector Review	包括的教育セクターレビュー
DEPT	Department of Education Planning and Training	(教育省) 教育計画・訓練局
EC	Education College	教員養成校
G1	Grade 1	小学1年生
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
R/D	Record of Discussion	討議議事録
UNICEFP	United Nations Children's Fund	国際連合児童基金
UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	国際教育科学文化機関

事業事前評価表

人間開発部基礎教育第一課

1. 案件名

国名：ミャンマー

案件名：初等教育カリキュラム改訂プロジェクト

The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における教育セクターの現状と課題

ミャンマー連邦共和国（以下、「ミャンマー」と記す）では基礎教育の拡充が2011年に発足した新政権の重点課題の1つであり、国際水準の教育を標榜し、国家教育法の制定や教育基本法の改訂、学制改革や基礎教育行政の地方分権化等、大規模な教育改革に着手している。これに伴い2012/2013年度の教育予算額は前年度に比べて倍増しており（2011/12 3.17億ドル→2012/13 6.54億ドル）¹、改革の着実な推進が期待される。

初等教育（1～5年生）は、総就学率が117%（世界銀行、2010）に到達した。一方、中退率は学年が進むにつれ上昇し、最終学年では23%（ミャンマー教育省、2011）に達する。これは、家庭の貧困や親の季節労働等による影響と並んで、教育内容の質の低さや教員の能力不足が学習に対する子どもの興味・関心を阻害していることも原因と考えられている。

わが国は、ミャンマーがASEANに加盟した1997年から、同国教育省が進める児童中心型教育²（Child-Centered Approach：CCA）の導入を支援すべく、先方からの要請に基づきカリキュラム提言や教員研修等、基礎教育の質的向上に資する協力を継続してきた。その結果、2000年の初等教育カリキュラム改訂で理科・社会・総合学習の3科目がわが国の提言を受け導入された。さらに、上記3科目を対象とした技術協力プロジェクト「児童中心型教育強化プロジェクト・フェーズ2」（2008～2012年）の終了後には、教育省の独自予算により協力成果品（教師用指導書）が全国配布され、CCA研修の全国展開も開始された。

しかし、上記のとおり児童中心型授業の普及を継続的に支援してきたものの、半数以上の教科で10年以上改訂されていない教科書に基づき授業が実施され、アセスメントも依然として暗記中心の状況であり、CCAの定着の障害となっている。

一方2011年以降、民政移管後の新政権下で国内の諸改革が急速に進み、それに呼応して教育セクターの改革も進められようとしている。教育省はカリキュラムや教科書、教員養成・研修、アセスメント等に係る制度改革の実施予定で、包括的教育セクターレビュー（Comprehensive Education Sector Review：CESR, 2012-2014）を実施中である。わが国は他ドナー

¹ ミャンマー国教育セクター情報収集・確認調査ファイナルレポート p.20 表 2-1 の金額をチャットからドル換算（1チャット＝0.001025ドル 2013年8月現在）

² 児童中心型教育とは、教師の一方的な教え込みによる暗記型学習から転換して、子どもの興味・関心を重視した学習活動を展開し創造的な思考力の発達をめざす教育アプローチである。子どもをとりまく環境に注目し、社会が直面するさまざまな問題や困難をどう解決するかという問題解決学習を取り入れる。デューイ（20世紀初頭の米国の哲学者）の教育理論に基づいており教育の国際的潮流となっている。

と共同で CESR を支援しており、特に初等教育カリキュラムの枠組み形成と教師教育に関し、これまでの協力経験を活用しつつ主導的役割を果たしている。

以上の背景から、今後の社会ニーズに合致した学力を子どもが身につけられるよう、CESR への技術支援をベースに、カリキュラム・教科書・アセスメントを一体的に整備するとともに、学校教育現場において円滑に新カリキュラムを導入・実施するための教員（新規並びに現職）の能力向上が必要である。

(2) 当該国における教育セクターの開発政策と本事業の位置づけ

新政権の教育政策として大統領が発表した 10 項目の教育政策（The Guidance of the Head of State : 10 points Education Policy）に基礎教育が重点項目として挙げられている。また次期国家開発計画策定に向けて 2012 年に発表された教育セクター計画では、「基礎教育初等レベルにおける CCA の効果的实施」が優先事項として挙げられている。

本プロジェクトは、この CCA の効果的实施のためのカリキュラム・教科書改訂を支援する。

(3) 教育セクターに対するわが国及び JICA の援助方針と実績

日本政府の対ミャンマー経済協力方針（2012 年）の三本柱の 1 つである「経済・社会を支える人材の能力向上のための支援」に位置づけられる。ミャンマーに対する教育分野の協力実績は以下のとおり。

- ・個別専門家「基礎教育カリキュラム改善」（1997～2000 年）
- ・開発調査「基礎教育改善計画調査」（2000～2004 年）
- ・技術協力プロジェクト「児童中心型教育強化プロジェクト」（フェーズ 1 2004～2007 年、フェーズ 2 2008～2012 年）

(4) 他の援助機関の対応

2011 年以降、ドナーによる教育セクターへの支援コミットメントは急増している。2012 年よりドナー支援による CESR が実施され、そのレビューの結果と提言は 2014 年中に教育セクター計画に反映される予定である。UNESCO、世界銀行、AusAID、DFID、British Council、デンマーク、ノルウェー等は教育・人材育成支援の実施・準備を開始している。また、マルチ・ドナーが出資する基金（Multi-donor Education Fund : MDEF）の支援による Quality Basic Education Programme（QBEP）は就学前教育、基礎教育、教育計画・行政強化・ノンフォーマル教育分野で協力を実施しており、第 2 期（2011～2015、総額 6,500 万ドル）に入っている。

3. 事業概要

(1) 事業目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

本事業は、ミャンマー国において初等教育の新カリキュラムに則った教科書・教師用指導書・試験等の作成及び教員養成課程の新カリキュラム作成・教員に対する普及研修等を実施することにより新カリキュラムの導入を図り、もって国際水準の学力達成に資する新カリキュラムの全面実施に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト / 対象地域名

ミャンマー全国

(3) 本事業の受益者（ターゲット・グループ）

カリキュラム開発者（教育省教育計画・訓練局カリキュラム課職員、教員養成校教官等約50名）、小学校教員約18万7,000名、教員養成大学教官約1,200名、小学校児童約520万名、教員養成大学生徒約1万名

(4) 事業スケジュール（協力期間）

2014年5月～2019年9月（5年5カ月）

(5) 総事業費（日本側）

約14.5億円

(6) 相手国側実施機関

教育省教育計画・訓練局

(7) 投入（インプット）

1) 日本側

・長期 / 短期専門家

＜全体＞基礎教育改善、総括

＜カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント＞

副総括（カリキュラム開発）、教科教育、教科書開発、アセスメント支援

＜教師教育コンポーネント＞

副総括（教師教育）、教員研修

・専門家活動経費

・C/Pの能力強化に関する会合開催経費（定期会合に関する費用を除く、両コンポーネント共通）

・翻訳経費（最終校正にかかる経費は除く）

・PC、プリンター他事務機器

・本邦研修、第三国研修

2) ミャンマー側

・カウンターパート配置

・教科書・教師用指導書等成果物の採用に関する意思決定

・教科書・教師用指導書・アセスメントツールに関する編集担当者

・定期会合に関する経費（両コンポーネント共通）

・新カリキュラム検証のための小学校・教員養成大学の割り当て

・教科書・教員用指導書（ミャンマー語）・アセスメントツール等に関する最終校正にかかる経費

・新教科書・教師用指導書・アセスメント等の印刷・配布

- ・新カリキュラムに関する教員研修の最終成果品の印刷・配布
- ・小学校教員への新カリキュラム伝達講習にかかる経費（現職教員研修を通じて）
- ・プロジェクトオフィス（光熱費等を含む）

(8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境に対する影響/用地取得・住民移転

①カテゴリ分類：C

②カテゴリ分類の根拠：本事業による環境への影響等はない。

2) ジェンダー・平等推進/平和構築・貧困削減

開発する教科書等の成果物においてジェンダーに配慮したトピックや表現を用いる。

3) その他

特になし

(9) 関連する援助活動

1) わが国の援助活動

- ・「基礎教育改善アドバイザー」（2012～2014年）：教育省の政策への提言、教育省・他ドナーとの調整
 - ・円借款「社会経済開発支援借款」（2013年）
 - ・「教育セクター情報収集・確認調査」（2012年～）：CESRにおける初等教育カリキュラムの枠組み形成及び教師教育に関する技術支援
- 上記のほか、教員養成校建設に関する無償資金協力を検討中。

2) 他ドナー等の援助活動

カリキュラムについては UNICEF が就学前教育、ADB が前期中等教育をそれぞれ支援しており、本プロジェクトの対象である初等教育カリキュラムとの整合性を確保する。

4. 協力の枠組み

(1) 協力概要

1) 上位目標

初等教育の新カリキュラムが全面実施³される。

【指標】

- ・新カリキュラムに則った授業時数が導入される。
- ・新カリキュラムに則った教科書が活用される。
- ・新カリキュラムに則った授業が実施される。
- ・新カリキュラムに則った試験が実施される。
- ・新カリキュラムに則った教員養成課程の新カリキュラムが実施される。

³ 全学年で新カリキュラムが実施される状態を指す。2013年8月時点の情報によれば、ミャンマー国教育省は初等教育の新カリキュラムを全学年で一斉に導入するのではなく、学年ごとに毎年順次導入する予定である（1年生は2015年から、2年生は2016年からという形で導入。順次導入する期間は移行期間）。これに沿えば最後の5年生は2019年から導入されることとなり、新カリキュラム全面実施となるのはプロジェクト期間終了後となる。

2) プロジェクト目標

初等教育の新カリキュラムに則った教育活動が学校及び教員養成大学で実施される。⁴

【指標】

- ・新カリキュラムに則った授業時数が、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って導入される。
- ・新カリキュラムに則った教科書が、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って活用される。
- ・新カリキュラムに則った授業が、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って実施される。
- ・新カリキュラムに則った試験が、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿って実施される。
- ・新カリキュラムに則った教員養成課程の新カリキュラムが、教育省の定めた新カリキュラム実施計画に沿った形で実施される。

3) 成果及び活動

<カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント>

成果1：新カリキュラムフレームワーク⁵が開発される。

【指標】

- ・新カリキュラムフレームワークが提案される。
- ・新カリキュラムフレームワークが教育省によって最終化される。

【活動】

- 1-1. CESR 等を通じて、新カリキュラムの方針策定に対する技術的支援を行う。
- 1-2. 教科の範囲を決定する。
- 1-3. 学習分野の目的・目標を決定する。
- 1-4. 各学年の学習分野の内容を選定する。
- 1-5. 学習分野の指導方針を決定する。

成果2：新しい教科書及び教師用指導書が開発される。

【指標】

- ・新教科書及び新教師用指導書が提案される。
- ・新教科書及び新教師用指導書が教育省により最終化される。

【活動】

- 2-1. CESR 等を通じて、新教科書及び新教師用指導書の作成方針に関する技術的支援を行う。
- 2-2. 新カリキュラムの枠組みに基づき、各学年の教科書の内容範囲を決定する。
- 2-3. 新教科書及び新教師用指導書の開発手順を決定する。

⁴ 新カリキュラム導入に必要な教科書、試験等が完成し活用され始めている状態を指す。ただし、上記のとおり全学年で導入は開始していないので、「全面実施」とはしない。

⁵ 各教科の範囲、目標、系統性等を定めたもの（日本の学習指導要領に近いイメージ）を想定している。本プロジェクト開始前にCESR フェーズ2を通じて開発される見込みであるが、CESR フェーズ2の進捗が遅れた場合には本プロジェクトにて開発を行う。

- 2-4. 新教科書の内容編集を行う。
- 2-5. 新教科書の構成を検討する。
- 2-6. 新教科書の最終校正を行う。
- 2-7. 新教師用指導書の内容編集を行う。

成果3：新しい学力評価ツール（アセスメントツール）が開発される。

【指標】

- ・新カリキュラムに則った試験問題集
- ・同試験問題集の活用ガイドライン

【活動】

- 3-1. CESR 等を通じて、新カリキュラムに則ったアセスメント（試験）に関する方針への技術的支援を行う。
- 3-2. 新カリキュラムの考え方に則った試験問題集を作成する（一部は教師用指導書に含める）。
- 3-3. 試験問題集の活用ガイドラインを作成する。

※ミャンマー教育省による試験関連制度の動向に応じて指標・活動を変更する。

<教員教育コンポーネント>

成果4：教員研修に関する政策に整合した形で、新カリキュラムに基づいた教員養成課程が整備される。

【指標】

- ・教員養成校の新カリキュラムが提案される。
- ・教員養成校の新カリキュラムが教育省によって最終化される。
- ・教員養成校教官に対する評価結果（点数の増。具体的指標は案件開始6カ月後に決定）。

【活動】

- 4-1. CESR 等を通じて、教員養成政策・方針に対する技術的支援を行う。
- 4-2. 新カリキュラムの枠組みと現行の教員養成校のカリキュラムとの整合性を分析する。
- 4-3. 活動4-2の分析結果及び現在実施中の教員養成改革に基づいて、新しい教員養成カリキュラムを立案する。
- 4-4. 教員養成課程の教科書を改訂する。
- 4-5. 教員養成校教官に対する研修計画を策定する。
- 4-6. 教員養成校教官に対する研修を実施する。
- 4-7. 教員養成校教官に対する研修のモニタリング及び評価を行う。

※ミャンマーでは教員養成課程を従来の2年制から4年制に延長する動きがあり、その決定時期及び内容によって指標・活動を変更する。

成果5：学校教員が新カリキュラムを理解するための活動が導入される。

【指標】

- ・学校教員が新カリキュラムを正しく理解するための研修パッケージが開発される。
- ・学校教員に対する伝達講習活動が教育省の定めたスケジュールに則って実施される。

【活動】

- 5-1. CESR 等を通じて、学校教員が新カリキュラムを理解するための活動に関する方針などに対する技術的支援を行う。
- 5-2. 現職教員研修などを通じた新カリキュラムの伝達講習の詳細計画を策定する。
- 5-3. 伝達講習のための教材を開発する。
- 5-4. 新カリキュラムの伝達講習実施を促進する。

4) プロジェクト実施上の留意点

- ・本プロジェクトは、根本となるカリキュラム枠組みの開発（教科の範囲・目標・系統性の決定）（成果 1）、教科書・教師用指導書開発（成果 2）、カリキュラムで想定した学力を的確に評価する試験問題（アセスメント）の開発（成果 3）により、カリキュラム・教科書・試験の一貫性の確保を支援する。また、新カリキュラムの考え方を反映した教員養成課程の改善（成果 4）、及び現職教員の新カリキュラムに対する理解促進（成果 5）をも行う。これらにより初等教育の新カリキュラム開発・実施を包括的に支援するものである。
- ・ミャンマー政府による新カリキュラム導入スケジュール、教員養成課程期間の延長決定等はまだ正式決定されたものではなく、プロジェクト実施中も動向を注視し、状況に応じて活動及び投入を柔軟に変更することが必要である。

(2) その他インパクト

特になし

5. 前提条件・外部条件（リスク・コントロール）

(1) プロジェクト実施のための前提条件

- ・カリキュラム改訂の方針が維持される。

(2) 成果達成のための外部条件

なし

(3) プロジェクト目標達成のための外部条件

- ・本プロジェクトで提案された新教科書などが教育省によって承認され、計画どおり学校現場で活用される。
- ・すべての教育行政官が教育省に協力して新カリキュラムの考え方の拡充に向けて取り組む。

(4) 上位目標達成のための外部条件

- ・教育改革政策が維持される。

6. 評価結果

本プロジェクトは、ミャンマーの開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。

7. 過去の類似案件の教訓と本事業への活用

(1) 「児童中心型教育強化プロジェクト・フェーズ2」(2008～2012年) 終了時評価の提言と教訓として、以下の点が挙げられた。

- ・CCAの全国普及には、系統性に課題が見られるカリキュラム、それに基づいて開発された教科書を教育省の意図する新学力観に基づいたものに改善しなければ、根本的な教育改革とはならない。
- ・生徒の学力向上に結びつけるためには、CCAに基づいた授業を実践できる人材を育成しておかなくてはならない。教師用指導書の定期的な改訂も必要である。
- ・CCA型授業のインパクトが最大限図られ、授業改善ニーズが教員に自覚させるためにも、今後、試験内容が教育省の新学力観を反映させるように改めるべきである。

本プロジェクトはこれらの教訓に対応する形で、新カリキュラムの内容を教科書、教師用指導書、試験までの一貫性を確保すべく支援するとともに、教員が授業で適切に実践できるよう教員養成課程及び現職教員による新カリキュラムの理解促進までを支援対象に含めている。

(2) 教科書と教師用指導書を開発した「ホンジュラス算数指導力向上プロジェクト」(2003～2006年)、フェーズ2(2006～2011年)の教訓として、技術移転対象者の能力と目標を踏まえた事業設計の重要性が挙げられている。本プロジェクトでは、プロジェクト設計段階でカウンターパートの能力を十分に分析のうえ目標到達に必要な能力強化手法を設計し、カウンターパートの配置などの実施体制、開発スケジュールの策定に反映している。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

4. (1) のとおり。

(2) 今後の評価計画

- | | |
|------------|--------|
| ・事業開始6カ月以内 | 運営指導調査 |
| ・事業開始2年後 | 中間レビュー |
| ・事業終了6カ月前 | 終了時評価 |
| ・事業終了3年後 | 事後評価 |

第1章 調査・協議の経過と概略

1-1 プロジェクト形成の経過と概略

2011年に発足したミャンマー連邦共和国（以下、「ミャンマー」と記す）新政権は、重点課題の1つに基礎教育の拡充を掲げ、国際水準の教育を標榜し、教育基本法の制定や教育基本法の改訂、学制改革や基礎教育行政の地方分権化等、大規模な教育改革に着手している。これに伴い2012/2013年度の教育予算額は前年度に比べて倍増しており(2011/12 3.17億ドル→2012/13 6.54億ドル)¹、改革の着実な推進が期待される。

初等教育〔1～5年生（G1-5）〕は、総就学率が117%（世界銀行、2010）に到達した。一方、中退率は学年が進むにつれ上昇し、最終学年では23%（ミャンマー教育省、2011）に達する。これは、家庭の貧困や親の季節労働等による影響と並んで、教育内容の質の低さや教員の能力不足が学習に対する子どもの興味・関心を阻害していることも原因と考えられている。

わが国は、ミャンマーがASEANに加盟した1997年から、同国教育省が進める児童中心型教育²（Child-Centered Approach：CCA）の導入を支援すべく、先方からの要請に基づきカリキュラム提言や教員研修等、基礎教育の質的向上に資する協力を継続してきた。この結果、2000年の初等教育カリキュラム改訂で、理科・社会・総合学習の3科目の教師用指導書がわが国の提言を受け導入された。さらに技術協力プロジェクト「児童中心型教育強化プロジェクト・フェーズ2」（2008～2012年）の終了後には、教育省の独自予算により協力成果品（教師用指導書）が全国配布され、CCA研修の全国展開も開始された。

しかし半数以上の教科で10年以上改訂されていない教科書に基づき授業が実施され、アセスメントも依然として暗記中心の状況であり、「児童中心型教育(CCA)」の定着の障害となっている。

一方2011年以降、民政移管後の新政権下で国内の諸改革が急速に進み、それに呼応して教育セクターの改革も進められようとしている。教育省はカリキュラムや教科書、教員養成・研修、アセスメント等に係る制度改革を実施すべく、援助機関と協同で包括的教育セクターレビュー（Comprehensive Education Sector Review：CESR, 2012-2014）を実施中である。

このようななか、JICAは2012～2013年にかけて「ミャンマー教育セクター情報収集・確認調査」を実施し、CESRフェーズ1（2012年7月～2013年3月）のrapid assessmentへの貢献として教育セクターに関する情報をまとめた報告書を作成した。続くフェーズ2（2013年3月～2013年12月）の詳細調査では、設立されたワーキンググループのうち「初等教育カリキュラム」及び「教師教育」ワーキンググループにコンサルタントを派遣し、初等教育カリキュラム改訂に関する技術支援及び教師教育改革に関する提言をまとめている。これと並行してCESRフェーズ2で形成される予定の初等教育カリキュラムの枠組み（カリキュラムフレームワーク）に基づき初等教育の包括的な支援に関する要請がミャンマー政府よりわが国に対してあったことから、JICAは2013年6～7月に詳細計画策定調査を実施し、技術協力プロジェクト「初等教育カリキュ

¹ ミャンマー国教育セクター情報収集・確認調査ファイナルレポート p.20 表 2-1の金額をチャットからドル換算（1チャット＝0.001025ドル 2013年8月時点）

² 児童中心型教育とは、教師の一方的な教え込みによる暗記型学習から転換して、子どもの興味・関心を重視した学習活動を展開し創造的な思考力の発達をめざす教育アプローチである。子どもをとりまく環境に注目し、社会が直面するさまざまな問題や困難をどう解決するかという問題解決学習を取り入れる。デューイ（20世紀初頭の米国の哲学者）の教育理論に基づいており教育の国際的潮流となっている。

ラム改訂プロジェクト」の形成を行い、2014年1月にミャンマー教育省教育計画・訓練局長とJICA ミャンマー事務所長との間で討議議事録（Record of Discussions：R/D）を署名した。

1-2 詳細計画策定調査の概要

(1) 目的

プロジェクトの概略（上位目標、プロジェクト目標、成果、活動、ミャンマー側/日本側負担事項、実施体制、合同調整委員会（Joint Coordination Committee：JCC））についてミャンマー教育省関係者と合意する。

(2) 調査期間

本調査は2013年6月26日（水）から7月4日（木）の日程で実施された。

(3) 調査団構成

総括	佐久間 潤	JICA 人間開発部 基礎教育グループ次長
カリキュラム改訂	西方 憲広	JICA 国際協力専門員
協力企画1	松山 剛士	JICA 人間開発部 基礎教育第一課 主任調査役
協力企画2	池田 亜美	JICA 人間開発部 基礎教育第一課

(4) 調査日程

6/26	水	ヤンゴン着
6/27	木	在ミャンマー日本大使館との打合せ JICA ミャンマー事務所との打合せ
6/28	金	CESR オフィスとの協議
6/29	土	団内打合せ
6/30	日	移動→ネピドー
7/1	月	教育省との協議
7/2	火	教育省との協議
7/3	水	教育省とのミニッツ署名
7/4	木	移動→ヤンゴン JICA ミャンマー事務所報告 ヤンゴン発

(4) 主要面談者

Dr. Mya Aye	教育大臣
U Ko Ko Tin	教育省教育計画・訓練局長
U Ko Lay Win	教育省教育計画・訓練局課長
Daw Tin Tin Shu	CESR Task Manager
Dr. Myint Thein	国家教育アドバイザー

<在ミャンマー日本大使館>

松尾 秀明	参事官
有馬 純枝	書記官

< JICA ミャンマー事務所 >

田中 雅彦	所長
稲田 恭輔	次長
檀上 克人	所員
伊佐 康平	所員

第2章 プロジェクト概要

2-1 プロジェクト概要

(1) 案件名

初等教育カリキュラム改訂プロジェクト

The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education

(2) 期間

2014年5月～2019年9月（5年5カ月）

(3) 受益者

- ・直接受益者：カリキュラム改訂プロセスに携わる人材、小学校教員、教員養成大学教官
- ・間接受益者：全国の小学校児童、教員養成大学生徒

(4) 対象地域

ミャンマー全国

2-2 基本方針

(1) コンセプト（付属資料1 討議議事録（R/D）の ANNEX 1 参照）

過去の児童中心型教育（CCA）の教員研修の成果に立脚する形で、カリキュラム・教科書・教師用指導書・アセスメント、教員養成大学での教員教育・学校教員への伝達講習を通じた学校現場での実施まで、カリキュラム政策を包括的に支援する。

本プロジェクトは、次の2つのコンポーネントで構成される。

1) 第1コンポーネント：カリキュラム・教科書・アセスメント

以下の「三層カリキュラム」の一貫性を持たせることを目的に、カリキュラム・教科書・アセスメントの改善を行う。

- ① Intended Curriculum（国・政策レベルで定められたカリキュラム）
- ② Implemented Curriculum（教師が授業で実施したカリキュラム）
- ③ Attained Curriculum（児童により達成されたカリキュラム）

カウンターパート（Counterpart：C/P）については、カリキュラム担当、教科書開発担当等と別々に設けず、教科別のC/Pチームがカリキュラム・教科書・アセスメントすべてを担当することで、上記三層カリキュラムの一貫性確保をめざす。

2) 第2コンポーネント：教師教育

第1コンポーネントで開発されるカリキュラム・教科書・教師用指導書・アセスメントツール等を教員養成課程及び学校教育現場で導入・実践する。

- (2) ミャンマー政府による教育関連法が改正中であり、本来はその内容、施行時期を見た後に本プロジェクトの基礎となる初等教育カリキュラムの改訂を行うべきであるが、ミャンマー教育省はこれら教育関連法の改正と並行してカリキュラムの改訂を行う方針であることから、本プロジェクトも同方針に従って、法改正を待たずに実施することとする。
- (3) 初等教育カリキュラムフレームワークも本プロジェクト開始時点では確定していない可能性があるが、C/P の能力強化（特に初期に行われる教科書開発）については相当な時間を要することが見込まれ、カリキュラムフレームワークの確定を待って開発作業を開始すると、政治的に決定される新カリキュラム導入時期までに間に合わない可能性がある。そのため能力強化に関する十分な期間を設けることを優先し、カリキュラムフレームワーク確定を待たずに本プロジェクトを実施する。
- (4) 初等教育カリキュラムフレームワークは CESR フェーズ 2 で検討中であり、かつ教員養成校（Educational College : EC）の改革（2 年制から 4 年制への移行を含む）の動向も未定であることから、ミャンマー政府の教育改革の動向に応じて柔軟にプロジェクトを運営する。具体的には、Project Design Management（PDM）に示すプロジェクトの成果・評価指標及び活動は案件開始当初の情報に基づいたものとするが、実施条件の整備状況に応じて随時変更していくこととする。ただしスーパーゴール・上位目標・プロジェクト目標は変更せず、プロジェクト期間を通して一貫したものとする。
- (5) 今後、ミャンマーでは小学校就学年齢が 5 歳から 6 歳に引き上げられる予定であり、学校現場での 6 歳児への G1 新カリキュラム導入は 2015 年 6 月に施行が開始される可能性が高く、その場合タイトなスケジュールとなるため、可能な限り早期にプロジェクトを開始すべく R/D 締結などの手続きを早急に進めつつ、G1 の教科書・教師用指導書・アセスメントツール等の開発に向けて日本人専門家の集中投入・C/P のフルタイム配置により、集中的に開発作業を進める。（注：その後ミャンマー教育省は G1 新カリキュラムの導入時期を 2016 年 6 月に延期した）

2-3 対象教科

- (1) プロジェクト開始時点においては、本プロジェクトの対象教科は現行の小学 1～5 年生（G1-5）の全教科とし、下記 A、B のカテゴリーに分けて支援する。ただし初等教育カリキュラムフレームワークが確定後、教科の区分・導入学年等が変更される可能性が高い。その場合対象教科は同フレームワークで定めた教科に変更する（詳細は、付属資料 1 討議議事録の ANNEX 3 参照）。

現行の教科区分

Core-subject	<ul style="list-style-type: none"> ・ミャンマー語・算数・英語 ・総合学習（G1-3）：自然科学、道徳・公民、ライフスキル・初等理科（G4-5） ・社会（G4-5）：地理、歴史、道徳・公民、ライフスキル
Co-subject	<ul style="list-style-type: none"> ・体育、芸術（美術・音楽）、農業

各教科に対する本プロジェクトの支援

カテゴリー	支援内容	対象教科（現行の教科区分）
カテゴリー A	<p>主に長期専門家・本邦/在外/第三国研修（技プロ内包化国別研修）により集中的に技術支援を行い日本側が成果品（教科書、教師用指導書等）に責任をもつ。</p> <p>対象教科は過去の開発調査及び CCA プロジェクトで扱われた教科であり、CCA プロジェクトの教師用指導書をベースとして新教科書開発を進めることを想定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・算数 ・総合学習（G1-3）のうち自然科学、初等理科（G4-5） ・社会（G4-5）のうち地理、歴史
カテゴリー B	<p>主に短期専門家・調査団による短期セミナー・本邦研修（技プロ内包化国別研修）等により、教科の考え方・目標の立て方等の紹介を含めた支援を行うが、成果品（教科書、教師用指導書等）についてはミャンマー側が責任をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミャンマー語 ・英語 ・総合学習（G1-3）のうち道徳・公民、ライフスキル ・社会（G4-5）のうち道徳・公民 ・ライフスキル ・体育 ・芸術（美術・音楽） ・農業

(2) 英語の取り扱い

詳細計画策定調査における教育省との協議において、教育省からは「英語は Core-subject の 1 つであり、第二外国語としての日本の経験に基づいた技術支援を行ってほしい」との要請があった。しかし日本は、他国への英語教育の支援経験がほとんどないこと、ミャンマーにおける英語の導入対象学年が流動的であること（G1 から開始する可能性もあり）等から、カテゴリー B として取り扱うことで合意した。また必要であれば英語教育の知見を有する他ドナー（British Council 等）との調整を教育省側で図るよう提案した。

(3) プロジェクト初年度の対象教科

2015 年 6 月からの G1 新カリキュラム導入に向けて（注：当時。その後 G1 導入は 2016 年 6 月に延期）、新教科書・新教師用指導書を急ピッチで開発する必要がある。一方、プロジェクト初期は、教科書の編集方針・仕様等決定すべき事項が多く、日々の開発作業を通じて教

科書作成の理念を共有する C/P への集中的な技術支援が必要なことから、日本・ミャンマー国側双方に過大な負担となることが想定される。

そのため G1 の改訂対象教科は Core-subject のうち、ミャンマー語(カテゴリー B)・算数(A)・初等理科 (A) の 3 教科のみとし、G1 で扱う他教科については、G2 全教科とともに時間をかけて新教科書・新教師用指導書の開発を行うことで双方合意した。

2-4 プロジェクトの内容

詳細は、付属資料 1 討議議事録 (R/D) の ANNEX 2. PDM を参照。

(1) スーパーゴール

児童の学習到達度が新カリキュラムの考え方に則った形で改善される。

新カリキュラムで定めた能力について、児童の学習到達度が改善される状態を想定する。評価指標は全国統一試験の(素点ではなく)分析結果とする。

(2) 上位目標

新カリキュラムが全国的に実施される。

(3) プロジェクト目標

基礎教育課程の初等レベル (G1-5) において、新カリキュラムに則った教育活動が学校及び教員養成大学において実施される。

新カリキュラム導入時期は、最終決定されておらず流動的であること、プロジェクト実施期間内に新カリキュラム政策が学校現場で全面実施されるのは G4 までであること(プロジェクト期間内にできるのは G5 導入の準備まで)から、プロジェクト目標は「新カリキュラムが導入される」すなわち新カリキュラムの一部実施までにとどめ、プロジェクト終了数年後に達成されるべき上位目標は「G1-5 の新カリキュラム移行期が終わり、全面実施されている」状態と定める。

(4) コンポーネント・成果・活動

【カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント】

教科別のワーキンググループを結成し、新教科書・新教師用指導書・新アセスメントツールの開発を同時並行で行う。C/P は教科書・教師用指導書・アセスメントのすべてを担当する。

成果 1：新しいカリキュラムフレームワークが開発される。

2013 年 12 月まで実施される CESR フェーズ 2 を支援する形で、JICA は本プロジェクトに先行して基礎情報収集・確認調査「ミャンマー教育セクター調査」を実施中であるが、同調査コンサルタント 2 名(カリキュラム改訂・カリキュラム開発)の技術支援により、新カリキュラムフレームワークが決定される計画である。具体的には新教科書開発の基礎となる項目(教科分類、教科目標、スコープ・順序、必要授業時間数等)を本プロジェクト開始前ま

で決定することを想定しているが、ミャンマー教育省による意思決定を伴うことからプロジェクト開始前までに完了しない可能性がある。その場合には、本プロジェクト開始後日本人専門家及びC/Pとでこれら項目を検討し、ミャンマー教育省の検討を支援することとする。

成果2：新しい教科書及び教師用指導書が開発される。

初等教育カリキュラムフレームワークで定めた教科について、「児童にとって理解しやすく教員にとって教えやすい」新教科書の開発及び教員がわかりやすく授業を実施できるよう教科書を補完する形の教師用指導書開発を行う。

後述のとおり少なくともプロジェクト開始1年目については、教育省がC/Pのフルタイム配置に同意していることから、集中的に長期・短期専門家を投入し、2015年6月からの実施に向けて3教科の新教科書・新教師用指導書の開発を急ピッチで進める。（注：後にG1導入は2016年6月に延期）。G1の他教科はG2の全教科とともに開発する。

新教科書及び教師用指導書の印刷・配布の費用及び実施はミャンマー側負担とする。負担費用及び具体的な印刷・配布方法についてはプロジェクト開始後にミャンマー教育省と協議する。

成果3：新しいアセスメントツールが開発される。

新カリキュラムが適切に実施されているかどうか、すなわち新カリキュラムに則って授業を実施した結果、児童が新カリキュラムのめざす学力を獲得しているかどうかを適切に測定できるよう、学習達成度を測定するための良問サンプル集（R/Dでは“question item bank”と記載）とその使い方に関するガイドラインを作成する。

【教師教育コンポーネント】

教員養成校への支援に関する成果4及び5については、現在ミャンマー政府で検討中の教員養成校改革（2年制から4年制への移行を含む）の動向が流動的であることから、政府の方針が確定次第、活動と投入を柔軟に変更することとする。

成果4：教員養成校の新カリキュラムが、教員研修に関する政策に則って、学校の新カリキュラムに基づいて開発される。

初等教育カリキュラムフレームワークに則って、教員養成校で行われる教員養成カリキュラムの改訂及び教員養成課程で用いられる新教科書の開発を行う。教員養成カリキュラムは、第2コンポーネントのC/P（教育省DEPT国内研修課のスタッフを想定）がカリキュラム策定のスケジュール・枠組みなどを作成し、第1コンポーネントのC/Pが教科に関するインプットを行いながら作成することを想定している。教員養成校新教科書は毎年随時実施し、その完全版はプロジェクト最終年に完成させる。

成果5：教員養成校教官が新カリキュラムの考え方を習得する。

成果4と並行して、教員養成大学の教官が新カリキュラムの内容を理解するための研修実施及びモニタリングを行う。

成果6：新カリキュラムの伝達講習が導入される。

新カリキュラムは、毎年1学年ずつ導入することを想定しているが、ミャンマー国内の全小学校教員に対する新カリキュラム導入前の研修（伝達講習）を実施する。ミャンマー教育省の有する既存の研修枠組み（CCAに関する全国研修）の活用を想定している。研修教材の開発は日本側負担とし、全国研修の費用及び運営はミャンマー側負担とする。

(5) 投入

【日本側】

1) 専門家派遣（長期/短期）

業務実施契約コンサルタントにより実施する。特に本プロジェクトの主眼となる教科書開発には日本の民間企業（教科書開発）を含めた体制（コンサルタント契約に含む）に加えて、JICA 直営派遣専門家として、基礎教育改善専門家としてCESR フェーズ3（2014年1月～7月）含めミャンマー教育省及び他援助機関との調整にあたる人材の派遣を検討する。

- ・ チーフアドバイザー
- ・ 基礎教育改善
- ・ 第1コンポーネントに関する専門家
 - カリキュラム開発総括（各教科の教科書開発等の全体管理、教育省・他ドナーとの調整等）
 - 教科教育（国語、算数、理科、社会、音楽、体育等 必要に応じて）
 - 教科書開発・デザイン（教科書の仕様決定・編集方針の策定支援）
 - アセスメント（アセスメントシステムの支援）
 - テスト問題開発（アセスメントツールの開発）
 - データ分析（国家試験問題の分析手法等、アセスメントツールの妥当性検証のためのデータ分析等）
- ・ 第2コンポーネントに関する専門家
 - 教師教育総括
 - 新カリキュラム実施のための研修プログラム開発
 - 授業改善
- ・ その他（必要に応じ）

2) 専門家の活動経費

- 3) C/P 能力強化のためのセミナー・ワークショップ開催に関する経費（定期会合に関する費用を除く、両コンポーネント共通）。
- 4) 英語、ミャンマー語の翻訳費用。ただし最終校正に関する費用は除く。
- 5) プロジェクトオフィスに関する機材の供与
- 6) 本邦研修及び第三国研修の実施（必要に応じて）
- 7) その他の投入については、プロジェクト実施中に必要に応じて、ミャンマー教育省とJICA との間で協議の上、決定する。

【ミャンマー側】

1) C/P 配置

第1コンポーネント

- ・1教科に少なくとも4名ずつ配置する。教育省カリキュラム課スタッフ1～2名、教員養成大学の教官1～2名、小学校/中学校教員1～2名で構成する。1年目はこれらのC/Pについてフルタイムで配置することを詳細計画策定調査の協議でミャンマー教育省と合意した。2年目以降の配置方法については1年目の実績に基づき追って検討することとする。
- ・教科書・教師用指導書・アセスメントツールに関する編集担当者の配置

第2コンポーネント

初年度は第1コンポーネントによりG1の教科書開発などに集中投入すること、教員養成校4年制化の動向が流動的であることなどから、C/Pの配置についてはプロジェクト実施後に検討する（プロジェクトの1年目前半ごろ）。

- 2) プロジェクトにより開発された最終成果品（新教科書、新教師用指導書、新アセスメントツール、新教員養成校カリキュラム、教員養成課程新教科書、伝達講習教材等）の承認
- 3) 定期会合の開催に関する経費（両コンポーネント共通）
- 4) 新カリキュラム検証のための小学校及び教員養成校の割当
- 5) 教科書・教師用指導書・アセスメントツール等に関するミャンマー語最終校正にかかる経費
- 6) 新教科書・教師用指導書・アセスメント等、関連するドキュメントの印刷・配布
- 7) 新カリキュラムに関する教員研修の最終成果品の印刷・配布
- 8) 小学校教員への新カリキュラム伝達講習にかかる経費
- 9) プロジェクトオフィスの設置（光熱費等を含む）

(6) 実施体制

責任機関	教育省教育計画・訓練局 Department of Education Planning and Training (DEPT), Ministry of Education
プロジェクト・ディレクター	DEPT 局長
プロジェクト・マネジャー	DEPT 副局長
コンポーネント・マネジャー	・カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント 教育省教育計画・訓練局 (DEPT) カリキュラム課長 (ヤンゴン勤務) ・教師教育コンポーネント 教育省教育計画・訓練局 (DEPT) 国内研修課長 (ネピドー勤務)

(7) 合同調整委員会

役割及びメンバーは、付属資料1 討議議事録 (R/D) のとおり。

第3章 評価5項目による評価結果

以下の観点から評価した結果、本プロジェクトの実施は適切と判断できる。

3-1 妥当性

- ・ミャンマー国の政策における妥当性

新政権の教育政策として大統領が発表した10項目の教育政策（The Guidance of the Head of State : 10 points Education Policy）に基礎教育が重点項目として挙げられている。また、次期国家開発計画策定に向けて2012年に発表された教育セクター計画では、「基礎教育初等レベルにおける児童中心型教育（CCA）の効果的実施」が優先事項として挙げられている。このため本プロジェクトのミャンマー政府の政策との整合性は高い。

- ・日本の政策における妥当性

日本政府の対ミャンマー経済協力方針（2012年）の三本柱の1つである「経済・社会を支える人材の能力向上や制度整備のための支援」に教育支援が位置づけられている。よって本プロジェクトの日本の政策との整合性は高い。

3-2 有効性

本プロジェクトの有効性は、以下の理由から高いと見込まれる。

- ・プロジェクト目標の達成見込み

「新カリキュラムに則った教育活動がなされる」というプロジェクト目標に対して、現職教員研修や教科書開発といった一要素に対する支援ではなく、カリキュラムの枠組みに対する支援（成果1）、教科書及び教師用指導書（成果2）・授業（成果4及び5の教員養成支援、成果6の現職教員に対する伝達講習）、学力評価（成果3）といったカリキュラム政策のすべての要素に対して包括的に支援を行うことから、プロジェクト目標達成の見込みは高いといえる。

3-3 効率性

JICAは民政移管前からCCA研修を含めて基礎教育に関する支援を継続してきたことでミャンマー教育省は日本に対して同分野での協力を信頼を寄せており、それが本プロジェクトの要請につながっている。こうした信頼関係に基づいたプロジェクト実施は、効率性が高いといえる。

またミャンマー教育省は、過去のJICAの協力であるCCAによりCCA研修を独自に実施してきたおり、同研修の枠組み・運営に関するノウハウは本プロジェクトの新カリキュラム伝達講習（現職教員向け）への活用が期待できることから、効率的な実施が想定される。また2012年に発表された教育セクター計画では、「基礎教育初等レベルにおけるCCAの効果的実施」が優先事項として挙げられているなど、CCAに関する教育省関係者及び学校関係者に馴染みがある。そのためCCAを教育システム全体に反映させようとする本プロジェクトの取り組みはミャンマー教育関係者に障害なく受け入れられるものと見込まれる。よって効率性は高いといえる。

3-4 インパクト

プロジェクト実施期間内に新カリキュラム政策が学校現場で全面実施されるのは G4 までであること（プロジェクト期間内にできるのは G5 導入の準備まで³）から、プロジェクト目標は「新カリキュラムが導入される」すなわち新カリキュラムの一部実施までにとどめ、プロジェクト終了数年後に達成されるべき上位目標を「G1～5の新カリキュラム移行期が終わり、全面実施されている」状態と定めている。ミャンマー教育省の初等教育カリキュラムの改訂に関する方針が維持されれば、上位目標の達成見込みは高いといえる。

3-5 持続性

本プロジェクトによる効果は、以下の理由によりプロジェクト終了後も継続されるものと見込まれる。

(1) 政策・制度面

新政権の教育政策として大統領が発表した 10 項目の教育政策（The Guidance of the Head of State : 10 points Education Policy）に基礎教育が重点項目として挙げられており、2012 年に発表された教育セクター計画では、「基礎教育初等レベルにおける CCA の効果的実施」が優先事項として挙げられている。本プロジェクトは基礎教育分野で、かつ CCA を反映した教育を担保すべく包括的な支援を行うものであり、教育基本法の下に位置づけられる初等教育カリキュラムの具現化を図るものである。よって政策面での持続性は高い。

(2) 組織・財政面

ミャンマー教育省が大規模な教育改革に着手していることに伴い 2012/2013 年度の教育予算額は前年度に比べて倍増しており（2011/12 3.17 億ドル→2012/13 6.54 億ドル）教育は政策の重点であることを示している。今後の持続が期待できる。

3-6 結論

評価 5 項目の観点から総合的に判断した結果、本プロジェクト実施の妥当性は高いと判断される。ミャンマー国の開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。また、有効性、効率性、インパクトに加え、効果の持続性も高いと見込まれる。

³ 新カリキュラムの導入時期延期により、プロジェクト期間内に学校現場で実施されるのは G3 までとなった。

第4章 詳細計画策定調査団 団長所感

- (1) 本プロジェクトは、ミャンマーで現在急ピッチに進められている教育改革の動きに呼応した、極めて時宜を得たものである。かつ、本プロジェクトは、初等教育の全教科を対象に、①カリキュラム改訂、②これに伴う新教科書・教師指導書の作成、③さらには新カリキュラムの学校現場への導入・定着に不可欠な教員への研修、④そのための教員養成校のカリキュラム改訂への協力、⑤学力の定着を確認するためのアセスメントツールの開発などを包含するもので、このことは、実質的にミャンマーの初等教育の根幹部分をすべて今後わが国の協力によって改訂していくことを意味しており、その重要性、インパクトは極めて高い。教育省（教育大臣）からも、本調査団面会時に、本プロジェクト実施にかかる、わが国への非常に高い期待が表明された。
- (2) 他方、本プロジェクト実施の前提となる、教育基本法や基礎教育法の改訂、更にはカリキュラム改訂の前提となる学制変更については、いまだミャンマー政府による最終決定に至っていないが、政策的要因により、2015年からの新カリキュラム導入が確実視されており、こうした状況が、本プロジェクト要請の背景にある。すなわち、プロジェクト実施の前提となる諸条件が必ずしも整わないなかで、プロジェクトを進めざるを得ないことから、今次調査において、プロジェクトの基本枠組みについてミャンマー側と合意したものの、今後の諸条件の変化に応じて、案件のデザイン（PDM）を柔軟かつ迅速に見直していく必要がある。関係者は、プロジェクトの意義や、こうした特殊性に鑑み、従来型の協力方法にとられない柔軟な発想をもって本プロジェクトに取り組むことが求められる。
- (3) 上述のとおり、本プロジェクトは、一国の初等教育のあり方そのものを変更するものであり、多くのコンポーネントを包含する多様で大規模な活動を想定しており、理数科以外の教科や、教科書のレイアウト等、さまざまな専門家の投入が求められる。したがって、わが国の多様なリソースの結集が不可欠であり、日本国内での協力基盤の確保が重要となる。プロジェクト開始にあたり、こうした体制確保の方法については、十分な検討を行う必要がある。また、本プロジェクトの枠外の協力（本邦研修やCESRへの専門家等）と、もう1つのプログラムとして一体的な運用を進め、相乗効果を高めることが肝要である。また、KGや初等教育と中等教育カリキュラムの整合性、教師教育との一貫性を確保する観点から、今後、KGのカリキュラム改訂を支援予定のUNICEF及び中等教育のカリキュラム改訂を支援予定のADB、教員教育を支援予定のUNESCO等の各ドナーとは、引き続き緊密な情報共有を行っていく必要がある。
- (4) 今回、教育省への教育政策（教育大臣）アドバイザーの派遣について、強い要請があった。この背景には、これまでわが国が実施してきた教育支援への評価と本プロジェクトも含めた今後の協力に対する強い期待の表れと考えられ、他の開発パートナーとの関係において、主導的位置を確保する観点からも本プロジェクト実施の意義は非常に高い。したがって今後、政策アドバイザーの派遣についても、ぜひ実現すべく、関係者間の調整を進めたい。

付 属 資 料

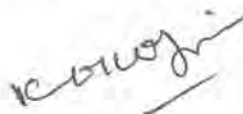
1. 討議議事録 (Record of Discussions : R/D)
2. 協議議事録 (Minutes of Meeting : M/M)

RECORD OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT FOR CURRICULUM REFORM AT PRIMARY
LEVEL OF BASIC EDUCATION IN MYANMAR
IN
THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
AGREED UPON BETWEEN
MINISTRY OF EDUCATION
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Nay Pyi Taw, 31 January 2014



Mr. Masahiko TANAKA
Chief Representative
Myanmar Office
Japan International Cooperation Agency
Japan



U Ko Ko Tin
Director General
Department of Educational Planning
and Training
Ministry of Education
The Republic of the Union of Myanmar

Based on the Minutes of Meetings on the Detailed Planning Survey on the Project for Improvement of Basic Education Curriculum¹ in Myanmar (hereinafter referred to as "the Project") signed on July 2, 2013 between Ministry of Education (hereinafter referred to as "MOE") and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), JICA held a series of discussions with MOE and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project.

Both parties agreed the details of the Project as described in the Appendix 1 and to request their respective governments to proceed with the necessary procedures for implementation of the Project.

Both parties also agreed that MOE, the counterpart to JICA, will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of the Republic of the Union of Myanmar.

The Project will be implemented within the framework of the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme and the Note Verbales to be exchanged between the Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") and the Government of the Republic of the Union of Myanmar (hereinafter referred to as "GOM").

The effectiveness of this Record of Discussion is subject to the exchange of the Note Verbales.

Appendix: Project Description

¹ Note: MOE and JICA agreed that the Project Title was changed to "The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education" at the Detailed Planning survey.

PROJECT DESCRIPTION

I. BACKGROUND

Upon the political transition in 2011, the reform in each and every sector has been carried out by GOM. The National Comprehensive Development Plan –NCPD has been developed in accordance with Myanmar Framework of Economic and Social Reform- FESR. As a part of NCPD, Ministry of Education has developed 20-year Long Term Education Development Plan.

In order to carry out systematic reform in education sector, Comprehensive Education Sector Review (CESR) (2012-2014) is being implemented. Findings from the Rapid Assessment of CESR also recommend the necessity to reform Basic Education Curriculum in Myanmar along with the change from the existing structure to new one.

MOE also considers that many reforms are necessary in the education sector. One of the urgent reform agenda is curriculum as the current five year plan (2011/12-2015/16) states “Upgrading basic education curriculum and syllabus to the international level” as a means of promoting basic education quality.

In view of the fact that a considerable amount of time is needed in the design and development of a new curriculum for Basic Education Sector, as a part of the basic education curriculum reform, the Project to prepare for the New Primary School Curriculum including intensive capacity development of the education personnel involved needs to be implemented as a parallel activities to CESR phase 3.

II. OUTLINE OF THE PROJECT

1. Title of the Project

The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education in Myanmar

2. Overall Goal

The new curriculum at primary level of basic education is implemented nationwide.

3. Project Purpose

Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and Education Colleges (ECs).

4. Outputs

- (1) The new curriculum framework is developed.
- (2) The new textbooks and teacher's guides are developed.
- (3) The new assessment tools are developed.

- (4) The new curriculum for EC is developed based on the new curriculum principle in line with teacher education policy.
- (5) Dissemination activities of the new curriculum are introduced.

5. Activities

[Curriculum, Textbook and Assessment Component]

[Output 1]

- 1-1. Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means.
- 1-2. Design a new course of study / a new set of areas of learning/ subject structure with clearly defined scope and sequence.
- 1-3. Formulate aims and objectives for each area of learning.
- 1-4. Select appropriate content (per grade) for each area of learning.
- 1-5. Identify appropriate teaching-learning strategies for each area of learning.
- 1-6. Adopt feasible assessment policy and guidelines and identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.

[Output 2]

- 2-1. Provide technical support to the formulation of new textbook and teacher's guide policy and strategy through CESR process and by other means.
- 2-2. Define the range of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework.
- 2-3. Define development procedures of new textbooks and teacher's guides.
- 2-4. Edit new textbooks contents.
- 2-5. Layout the illustration of textbooks.
- 2-6. Proofread the textbooks.
- 2-7. Edit contents of new teacher's guides.

[Output 3]

- 3-1. Provide technical support to the formulation of new assessment policy and strategy through CESR process by other means.
- 3-2. Develop a question item bank in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guides.
- 3-3. Develop a guideline on how to utilize the question item bank.

[Teacher Education Component]

[Output 4]

- 4-1. Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.
- 4-2. Analyze consistency between the new curriculum framework and the current EC curriculum.
- 4-3. Draft the new EC curriculum (teaching methodology subjects) based on the analysis (described in the activity 4-2) and the on-going teacher education reform.
- 4-4. Revise EC textbooks.
- 4-5. Develop a training plan for EC trainers.
- 4-6. Conduct training for EC trainers.
- 4-7. Monitor and evaluate results of the training for EC trainers.

40
/

[Output 5]

- 5-1. Provide technical support to the formulation of dissemination strategy of the new curriculum through CESR process and by other means.
- 5-2. Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.
- 5-3. Develop training/dissemination materials.
- 5-4. Promote the dissemination activities for the new curriculum.

6. Input

(1) Input by JICA

- (a) Dispatch of Experts:
 - Basic Education Development
 - Chief Advisor
 - Experts for "Curriculum, Textbooks, and Assessment Component"
 - Experts for "Teacher Education Component"
 - Other experts (if necessary)
- (b) Cost for activities of Experts
- (c) Cost for seminars and workshops for capacity development for both Components, other than regular meetings
- (d) Cost for translation (English – Myanmar) other than cost for proofreading
- (e) Provision of office equipment
- (f) Training in Japan and third countries (if necessary)
- (g) Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between MOE and JICA during the implementation of the Project, as necessary.

(2) Input by Myanmar side

- MOE will take necessary measures to provide at its own expense:
- (a) Assignment of Counterpart personnel for both Components
 - (b) Approval of final products to be developed by the Project
 - (c) Assignment of editing staff for textbooks, teacher's guides and assessment tools
 - (d) Cost for regular meetings for both Components
 - (e) Assignment of a few primary schools and one EC for validation of new curriculum
 - (f) Cost for proofreading of final products such as textbooks, teacher's guides and all related documents in Myanmar language
 - (g) Printing and distribution of final products of textbooks, teacher's guides and all related documents to education offices, schools, and students,
 - (h) Printing and distribution of final products of teacher training for the new curriculum.
 - (i) Cost for implementation of dissemination activities for the new curriculum to schools including in-service teacher training
 - (j) Project office with its running cost

7. Implementation Structure

The roles and responsibilities of relevant organizations are as follows:

(1) MOE

- (a) Department of Educational Planning and Training (DEPT) of MOE will bear the primary responsibility for administration and implementation of the Project. DEPT will make necessary coordination among the related departments within the Ministry such as Department of Basic Education (1), (2), (3), Department of Education Research Bureau, Subject-wise Committees, Myanmar Language Commission, Institutes of Education (IOE), and other development partners.
- (b) Director General of DEPT will bear the responsibility for overall coordination of the Project as Project Director.
- (c) Deputy Director General of DEPT will be responsible for the management of the both Components of the Project as Project Manager.
- (d) Deputy Director of Curriculum Section of DEPT will be responsible for the managerial and technical matters of the Project as Component Manager for "Curriculum, Textbook and Assessment Component".
- (e) Director of Local Training Section of DEPT will be responsible for the managerial and technical matters of the Project as Component Manager for "Teacher Education Component".

(2) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to MOE on any matters pertaining to the implementation of the Project.

(3) Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC will be held at least once a year and whenever deems it necessary. JCC will approve an annual work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project. A list of proposed members of JCC is shown in the ANNEX 4.

8. Project Site(s) and Beneficiaries

- (1) The Project sites will be nationwide
- (2) Direct beneficiaries will be those who are involved in curriculum revision, primary school teachers, EC Trainers.
- (3) Indirect beneficiaries will be pupils at primary level, EC trainees.

9. Duration

Duration of the Project will be five (5) years and five (5) months from the date when the first Japanese expert(s) for the Project arrive in Myanmar.

10. Environmental and Social Considerations

Myanmar side agreed to abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of the Project.

40 /

III. UNDERTAKINGS OF MOE AND GOM

1. MOE and GOM side will take necessary measures to:
 - (1) ensure that the technologies and knowledge acquired by the Myanmar nationals as a result of Japanese technical cooperation contributes to the economic and social development of Myanmar, and that the knowledge and experience acquired by the personnel of Myanmar from technical training as well as the equipment provided by JICA will be utilized effectively in the implementation of the Project; and
 - (2) grant privileges, exemptions and benefits to the JICA experts referred to in II-6 (1) above and their families, which are no less favorable than those granted to experts of third countries performing similar missions in Myanmar under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. MOE and GOM will take necessary measures to:
 - (1) provide security-related information as well as measures to ensure the safety of the JICA expert;
 - (2) permit the JICA experts to enter, leave and sojourn in Myanmar for the duration of their assignments therein and exempt them from foreign registration requirements and consular fees.
 - (3) exempt the JICA experts from taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material necessary for the implementation of the Project;
 - (4) exempt the JICA experts from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to them and/or remitted to them from abroad for their services in connection with the implementation of the Project; and
 - (5) meet taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material, referred to in II-6 above, necessary for the implementation of the Project.
3. GOM will bear claims, if any arises, against the JICA experts resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Project, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the JICA experts.

IV. EVALUATION

JICA and Myanmar side will jointly conduct the following evaluations and reviews.

- (1) Mid-term review at the middle of the cooperation term

(2) Final evaluation during the last six (6) months of the cooperation term

JICA will conduct the following evaluations and surveys to mainly verify sustainability and impact of the Project and draw lessons. Myanmar side is required to provide necessary support to them.

- (1) Ex-post evaluation three (3) years after the project completion, in principle
- (2) Follow-up surveys on necessity basis

V. PROMOTION OF PUBLIC SUPPORT

For the purpose of promoting support for the Project, Myanmar side will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Myanmar.

VI. COPYRIGHT

Any copyrights concerning final products developed by the Project such as textbooks, teacher's guides and assessment tools shall belong to JICA and MOE.

VII. MUTUAL CONSULTATION

JICA and Myanmar side will consult each other whenever any major issues arise in the course of Project implementation.

VIII. AMENDMENTS

The Record of Discussions may be amended by a minutes of meetings between JICA and MOE. The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the Record of Discussions.

END

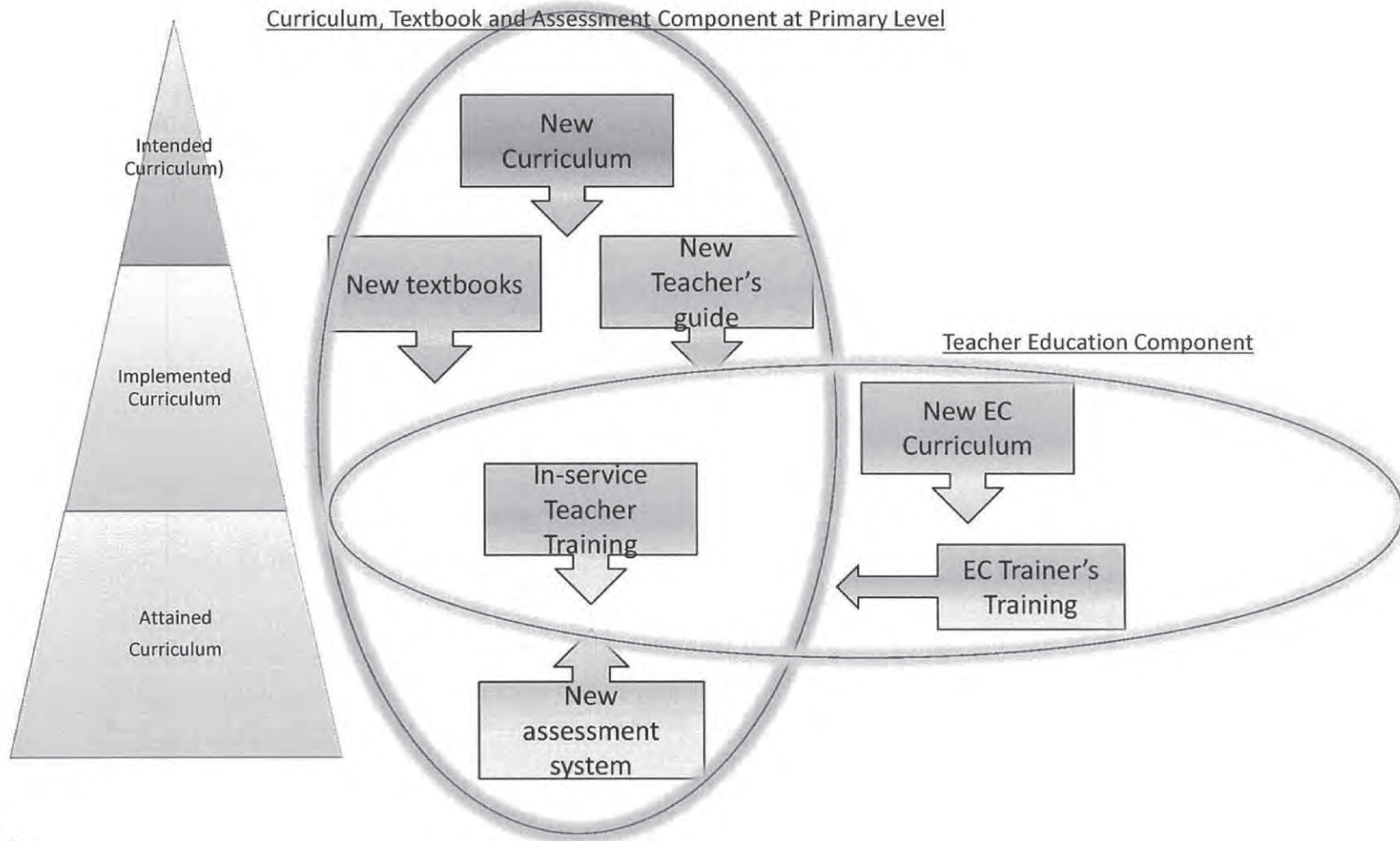
- ANNEX 1 Framework of the Project
- ANNEX 2 Project Design Matrix (PDM)
- ANNEX 3 Subject Scope
- ANNEX 4 Plan of Operations
- ANNEX 5 List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee

30/

60/

ANNEX 1: Framework of the Project

Connecting “Curriculum-Lesson-Assessment”



Appendix 2

- (attach Minutes of Meetings signed on July 2, 2013)

10/1

ANNEX 2: Project Design Matrix (PDM)

Project Title: The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education

Duration: 5 Years and 5 months (January 2014 - May 2019)

Target Group: (Direct) Those who are involved in curriculum revision, primary school teachers, Education College (EC) Trainers
(Indirect) Pupils at primary level, EC trainees

Target Subject: All subjects at Primary Level of Basic Education

Target Area: Nationwide

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Super Goal Pupils' learning performance is improved in line with the new curriculum principle.	Results of analysis of national exam	MOE Report	
Overall Goal The new curriculum at primary level of basic education is implemented nationwide.	(1) The new school timetable is in use. (2) The new textbooks are in use. (3) Lesson is conducted in line with new curriculum. (4) The new assessment system is implemented. (5) The new EC curriculum is implemented.	MOE Report	Teacher's teaching capacity is improved through Continuous Professional Development (CPD).
Project Purpose Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and Education Colleges (ECs).	(1) New school timetable is introduced according to the curriculum implementation plan. (2) The new textbooks, including draft version, is introduced according to the curriculum implementation plan. (3) Lesson is introduced in line with the new curriculum, according to the curriculum implementation plan. (4) The new assessment system is introduced according to the curriculum implementation plan. (5) The new curriculum for EC is introduced according to the curriculum implementation plan.	MOE Report	Education Reform policy is maintained
Output 1: The new curriculum framework* is developed.	(1) The new curriculum framework is proposed. (2) The new curriculum framework is finalized by MOE.	MOE Report	(1) Proposed related documents are endorsed by MOE and utilized at school level as planned.
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.	(1) The new textbooks and the new teacher's guides are proposed. (2) The new textbooks and the new teacher's	MOE Report	(2) All administrative officers work in cooperation with the

	guides are finalized by MOE.		Ministry of Education to expand new curriculum principle.
Output 3: The new assessment tools are developed.	(1) The question item bank (2) The guideline on how to utilize the question item bank	MOE Report	
Output 4: The new curriculum for EC is developed based on the new curriculum principle in line with teacher education policy.	(1) The new curriculum for EC is proposed. (2) The new curriculum for EC is finalized by MOE. (3) Increment in score of training evaluation, comparing between pre and post-test.	MOE Report	
Output 5: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.	(1) A training package is developed. (2) Teacher training dissemination activities are conducted according to the government-set schedule.	MOE Report	
Activities	Inputs		(1) Appropriate number of counterparts continues to be assigned to the Project.
1-1. Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means. 1-2. Design a new course of study / a new set of areas of learning/ subject structure with clearly defined scope and sequence. 1-3. Formulate aims and objectives for each area of learning. 1-4. Select appropriate content (per grade) for each area of learning. 1-5. Identify appropriate teaching-learning strategies for each area of learning. 1-6. Adopt feasible assessment policy and guidelines and identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.	<u>Inputs by the Japanese side</u> (a) Dispatch of Experts: - Basic Education Development - Chief Advisor - Experts for "Curriculum, Textbooks, and Assessment Component" - Experts for "Teacher Education Component" - Other experts (if necessary) (b) Cost for activities of Experts (c) Cost for seminars and workshops for capacity development for both Components, other than regular meetings (d) Cost for translation (English – Myanmar) other than cost for proofreading (e) Provision of office equipment (f) Training in Japan and third countries (if necessary) (g) Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between MOE and JICA during the implementation of the Project, as necessary.		
2-1. Provide technical support to the formulation of new textbook and teacher's guide policy and strategy through CESR process and by other means. 2-2. Define the range of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework. 2-3. Define development procedures of new textbooks and teacher's guides. 2-4. Edit new textbooks contents. 2-5. Layout the illustration of textbooks. 2-6. Proofread the textbooks. 2-7. Edit contents of new teacher's guides.	<u>Inputs by the Myanmar side</u> (a) Assignment of Counterpart personnel for both Components (b) Approval of final products to be developed by the Project (c) Assignment of editing staff for textbooks, teacher's guides and assessment tools (d) Cost for regular meetings for both Components (e) Assignment of a few primary schools and one EC for validation of new curriculum (f) Cost for proofreading of final products such as textbooks, teacher's guides and all related documents in Myanmar language (g) Printing and distribution of final products of textbooks, teacher's guides		

140

<p>3-1. Provide technical support to the formulation of new assessment policy and strategy through CESR process by other means.</p> <p>3-2. Develop a question item bank in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guides.</p> <p>3-3. Develop a guideline on how to utilize the question item bank.</p>	<p>and all related documents to education offices, schools, and students,</p> <p>(h) Printing and distribution of final products of teacher training for the new curriculum.</p> <p>(i) Cost for implementation of dissemination activities for the new curriculum to schools including in-service teacher training</p> <p>(j) Project office with its running cost</p>	
<p>4-1. Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.</p> <p>4-2. Analyze consistency between the new curriculum framework and the current EC curriculum.</p> <p>4-3. Draft the new EC curriculum (teaching methodology subjects) based on the analysis (described in the activity 4-2) and the on-going teacher education reform.</p> <p>4-4. Revise EC textbooks.</p> <p>4-5. Develop a training plan for EC trainers.</p> <p>4-6. Conduct training for EC trainers.</p> <p>4-7. Monitor and evaluate results of the training for EC trainers.</p>		
<p>5-1. Provide technical support to the formulation of dissemination strategy of the new curriculum through CESR process and by other means.</p> <p>5-2. Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.</p> <p>5-3. Develop training/dissemination materials.</p> <p>5-4. Promote the dissemination activities for the new curriculum.</p>		<p>Pre-Conditions Curriculum reform policy is maintained.</p>

*Definition of "Curriculum Framework" will be confirmed later.

40

ANNEX 3: Subject Scope

Subject	Capacity development on Curriculum	Products					Products and training	
		Curriculum Framework (Follow-up of CESR)	Textbooks	Teacher's guides	Assessment Tools	EC Curriculum (Teaching methodology subjects)	In-service Teacher Training Plan and materials for dissemination	EC trainer's training Plan and materials (for Teaching methodology subjects)
Myanmar	A	A	B	B	B	B	B	B
Math			A	A	A	A	A	A
English			B	B	B	B	B	B
General Study (G1-3)								
Natural Science			A	A	A	A	A	A
Moral and Civics			B	B	B	B	B	B
Life Skill			None	None	None	None	None	None
Basic Science (G4-5)			A	A	A	A	A	A
Social Study (G4-5)								
History			B	B	B	B	B	B
Geography			B	B	B	B	B	B
Moral and Civics			B	B	B	B	B	B
Life Skill			None	None	None	None	None	None
Physical Education			B	B	B	B	B	B
Aesthetic Education (Arts and Music)			B	B	B	B	B	B
Agriculture			B	B	B	B	B	B

“Capacity development on Curriculum” consists of all issues related to curriculum revision, such as “Textbook review”, “Curriculum Framework”, “General rule of curriculum”, “How to bring rules into operation”, “Scope and Sequence”, “Assessment”, depending on technical necessity of the Myanmar side.

- A: Long-term experts will be dispatched to provide intensive capacity development on subject matters and to check the quality of outputs.
- B: Short-term experts will be dispatched to provide capacity development on subject matters but the Myanmar side will check the quality of outputs.
- *If a curriculum framework is modified through CESR Phase 2, the Project scope on subject will be discussed and redefined.

ANNEX 4: Draft of Plan of Operation (PO)

Year Month	2014												2015												2016																																																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																					
Curriculum Revision Process by the Myanmar side													Printing G1	Distribution G1											Implementation G1													Printing G2	Distribution G2											Implementation G2												Printing G3											
Output 1: The new curriculum framework is developed.																																																																									
1-1 Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means.																																																																									
1-2 Design a new course of study / a new set of areas of learning/ subject structure with clearly defined scope and sequence.																																																																									
1-3 Formulate aims and objectives for each area of learning.																																																																									
1-4 Select appropriate content (per grade) for each area of learning.																																																																									
1-5 Identify appropriate teaching-learning strategies for each area of learning.																																																																									
1-6 Adopt feasible assessment policy and guidelines and identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.																																																																									
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.																																																																									
2-1 Provide technical support to the formulation of new textbook and teacher's guide policy and strategy through CESR process and by other means.																																																																									
2-2 Define the range of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework.	G1-5 all subj.																																																																								
2-3 Define development procedures of new textbooks and teacher's guides.	G1-5 all subj.																																																																								
2-4 Edit new textbooks contents.	G1 Myanmar, Math, General Study G2 Core-subjects G3 Core-subjects G4 Core-subj																																																																								
2-5 Layout the illustration of textbooks.	G1 Myanmar, Math, General Study G2 Core-subjects G3 Co-subjects G4 Co-subj																																																																								
2-6 Proofread the textbooks.	G1 Myanmar, Math, General Study G2 Core-subjects G1-2 Co-subjects G3 Co-sub. G3 Core-subjects G3 Co-subjects																																																																								
2-7 Edit contents of new teacher's guides.	G1 Myanmar, Math, General Study G1-2 Co-subjects G3 Co-sub G4																																																																								
Output 3: The new assessment tools are developed.																																																																									
3-1 Provide technical support to the formation of new assessment policy and strategy through CESR process and by other means.																																																																									
3-2 Develop a question item bank in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guide.	G1 Myanmar, Math, General Study G1-2 Co-subjects G3 Core-sub. G4																																																																								
3-3 Develop a guideline on how to utilize the question item bank.	G1-2 Co-subjects G3 Co-sub. G4																																																																								
Output 4: The new EC curriculum is developed based on the new curriculum principle in line with teacher education policy.																																																																									
4-1 Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.																																																																									
4-2 Analyze consistency between the new curriculum framework and the current EC curriculum.	G1 Core-subject G2 Core-sub. G1-2 Co-sub. G3 Core-sub. G3 Co-sub.																																																																								
4-3 Draft EC curriculum (teaching methodology subjects) based on the analysis (activity 4-2) and the on-going teacher education reform.	G1 Core-subject G2 Core-sub. G1-2 Co-sub. G3 Core-sub. G3 Co-sub.																																																																								
4-4 Revise EC textbooks.																																																																									
4-5 Develop a training plan for EC trainers.	G1 Core-subject G2 Core-sub. G1-2 Co-sub. G3 Core-sub. G3 Co-sub.																																																																								
4-6 Conduct training for EC trainers	G1 Core-subject G1-2 Co-sub. G2 Core-sub. G1-2 Co-sub.																																																																								
4-7 Monitor and evaluate results of the training for EC t rainers	G1 Core-subject G2 Core-sub. G1-2 Co-sub.																																																																								
Output 5: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.																																																																									
5-1 Provide technical support to dissemination process strategy of the new curriculum through CESR process and by other means. (After defining new dissemination strategy)																																																																									
5-2 Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.	G1 Core-subject G2 Core-sub. G1-2 Co-sub. G3 Core-sub. G3 Co-sub.																																																																								
5-3 Develop training/dissemination materials.	G1 Core-sul G2 Core-sub. G1-2 Co-sub. G3 G3																																																																								
5-4 Promote the dissemination activities for the new curriculum.	G1 Core-subject G2 Core-sub. G1-2 Co-sub. G3																																																																								

ANNEX 4: Draft of Plan of Operation (PO)

Year Month	2017												2018												2019																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
Curriculum Revision Process by the Myanmar side	Distribution G3					Implementation G3							Printing G4					Distribution G4					Implementation G4							Printing G5					Distribution G5							Implementation G5				
Output 1: The new curriculum framework is developed.																																														
1-1 Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means.																																														
1-2 Design a new course of study / a new set of areas of learning/ subject structure with clearly defined scope and sequence.																																														
1-3 Formulate aims and objectives for each area of learning.																																														
1-4 Select appropriate content (per grade) for each area of learning.																																														
1-5 Identify appropriate teaching-learning strategies for each area of learning.																																														
1-6 Adopt feasible assessment policy and guidelines and identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.																																														
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.																																														
2-1 Provide technical support to the formulation of new textbook and teacher's guide policy and strategy through CESR process and by other means.																																														
2-2 Define the range of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework.																																														
2-3 Define development procedures of new textbooks and teacher's guides.																																														
2-4 Edit new textbooks contents.	G4 Core-subjects					G5 Core-subjects							G4 Co-subjects					G5 Co-subjects							G4 Core-subjects					G5 Core-subjects																
2-5 Layout the illustration of textbooks.	G4					G5							G4					G5							G4					G5																
2-6 Proofread the textbooks.						G4 Core-subjects							G4					G5 Core-subjects							G5					G5 Core-subjects																
2-7 Edit contents of new teacher's guides.	G4 Core-subjects					G5							G5 Core-subjects					G5																												
Output 3: The new assessment tools are developed.																																														
3-1 Provide technical support to the formation of new assessment policy and strategy through CESR process and by other means.																																														
3-2 Develop a question item bank in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guide.											G5																G5																			
3-3 Develop a guideline on how to utilize the question item bank.													G1-5 all subject																																	
Output 4: The new EC curriculum is developed based on the new curriculum principle in line with teacher education policy.																																														
4-1 Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.																																														
4-2 Analyze consistency between the new curriculum framework and the current EC curriculum.					G4								G4								G5								G5																	
4-3 Draft EC curriculum (teaching methodology subjects) based on the analysis (activity 4-2) and the on-going teacher education reform.					G4								G4								G5								G5																	
4-4 Revise EC textbooks.					G4								G4								G5								G5																	
4-5 Develop a training plan for EC trainers.					G4								G4								G5								G5																	
4-6 Conduct training for EC trainers	G3 Core-sub.				G3 Co-sub.								G4				G4								G5				G5																	
4-7 Monitor and evaluate results of the training for EC trainers					G3 Core-sub.								G4								G4																									
Output 5: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.																																														
5-1 Provide technical support to dissemination process strategy of the new curriculum through CESR process and by other means. (After defining new dissemination strategy)																																														
5-2 Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.									G4												G5																									
5-3 Develop training/dissemination materials.									G4												G5																									
5-4 Promote the dissemination activities for the new curriculum.	G3 Core-sub.				G3 Co-sub.								G4				G4								G5				G5																	

ANNEX 5: List of Proposed Member of Joint Coordinating Committee (JCC)

1) Functions

JCC is a steering body of the Project. JCC will meet at least once a year or whenever necessity arises. The main functions of the JCC are as follows:

- a. To formulate the annual plan of operation of the Project;
- b. To review the overall progress of the Project and achievement of the Project; and
- c. To identify issues that may arise during the implementation of the Project and to propose possible solutions.

2) Composition

- a. Chairperson : Director General of DEPT (Project Director)
- b. Vice Chairperson: Deputy Director General of DEPT (Project Manager)
- c. Members
 - Myanmar side
 - Director General, Department of Education Research Bureau
 - Director General, Department of Basic Education (1)
 - Director General, Department of Basic Education (2)
 - Director General, Department of Basic Education (3)
 - Director General, Department of Myanmar Language Commission
 - Representative, Subject-wise Committees
 - Representative, Institutes of Education
 - Other representatives, if necessary
 - Japanese side
 - Representatives of the Embassy of Japan in Myanmar
 - Representatives of JICA Myanmar Office
 - JICA Experts of the Project
 - Other personnel concerned to be proposed by JICA as necessary
- d. Secretariat:
 - Deputy Director of Curriculum Section of DEPT (Component Manager of "Curriculum, Textbooks, and Assessment Component")
 - Director of Local Training Section of DEPT (Component Manager of "Teacher Education Component")

**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
DETAILED PLANNING SURVEY TEAM OF
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR IMPROVEMENT OF BASIC EDUCATION CURRICULUM**

The Detailed Planning Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Jun SAKUMA, visited the Republic of the Union of Myanmar (hereinafter referred to as "Myanmar") from 26th June to 2nd July on the purpose of working out the details of the technical cooperation on "The Project for Improvement of Basic Education Curriculum" (hereinafter referred to as "the Project").

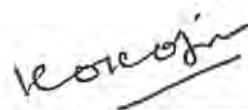
During its stay in Myanmar, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Myanmar authorities concerned with respect to the framework of the Project and necessary measures to be taken by JICA and the Government of Myanmar.

As a result of the discussions, the Team and Myanmar authorities concerned agreed upon the matters referred to in the document attached herewith.


Nay Pyi Taw, 2 July, 2013



Mr. Jun SAKUMA
Leader
Detailed Planning Survey Team
Japan International Cooperation Agency



U Ko Ko Tin
Director General
Department of Educational Planning and Training
Ministry of Education
The Republic of the Union of Myanmar



Dr. Myo Thein Gyi
Director General
Department of Myanmar Education Research Bureau
Ministry of Education
The Republic of the Union of Myanmar

ATTACHED DOCUMENT

1. Title of the Project

Both sides agreed that the title of the Project will be changed from “The Project for Improvement of Basic Education Curriculum” to “The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education”.

2. Rationale behind the Project

Both sides confirmed the rationale behind the Project as follows;

- (1) Based on Comprehensive Education Sector Review (CESR) findings and recommendations, an attempt is to be made to develop a school curriculum in Myanmar. This Project is assumed to have capability to give a strong contribution for such a development of a new school curriculum (especially at primary level) in Myanmar.
- (2) In view of the fact that a considerable amount of time is needed in the design and development of a new curriculum, the Project can be seen as a necessary parallel activity to CESR phase 3 and, at the same time, as a necessary bridge between CESR and a new curriculum development in Myanmar.
- (3) With regard to professional development of the education personnel involved in this process of educational change, this Project has also a main focus on the professional development of all curriculum staff and teacher educators. This Project is especially strong in this aspect. This set of rationale mentioned above clearly justifies the importance of the Project to be implemented as planned.

3. Outline of the Project

- (1) Both sides agreed on the outline of the Project as shown in ANNEX 1 (Framework of the Project), ANNEX 2 (Draft of Project Design Matrix), ANNEX 3 (Subject Scope) and ANNEX 4 (Draft of Plan of Operations), while both sides understood that the Project design may be modified in line with the education reform process.
- (2) The Team explained that in order to prepare for implementation of the new curriculum for Grade 1 from June 2015 as the Government of Myanmar plans, it is required that the new curriculum framework should be finalized before December 2013. The Myanmar side agreed on that and assured to take necessary measures to complete. Both sides agreed that due to the limited preparation period, development of Grade 1 textbooks and teacher’s guide will be limited to Myanmar, Math, and General Study in 2014 according to the Subject Scope as shown in ANNEX 3, while the rest will be produced to meet 2016/2017 implementation.
- (3) The Myanmar side requested that evaluation of the new curriculum and the new EC curriculum is important and should be covered by the Project. Both sides agreed that it should be discussed between both sides after the new curriculum evaluation strategy is developed by the Myanmar side.
- (4) The Myanmar side requested that English should be one of the subjects in the category “A” in the Subject Scope as shown in ANNEX 3 and technical support from Japan should be necessary based on Japan’s experience of English education as a second language. The Team recommended that since Japan’s experience to support English education is limited, English should be a subject in the category “B”. Both sides agreed on that.

4. Implementation structure

(1) The primary responsible organization

Department of Educational Planning and Training (DEPT) of MOE will bear the primary responsibility for administration and implementation of the Project. DEPT will make necessary coordination among the related departments within the Ministry such as Department of Basic Education (1), (2), (3), Department of Education Research Bureau, Subject-wise Committees, Myanmar Language Commission, Institutes of Education (IOE), and other development partners.

(2) Project Director

Deputy Minister (Basic Education) of MOE or Director General of DEPT will bear the responsibility for overall coordination of the Project as Project Director. The Myanmar side agreed that it will inform JICA Myanmar office after confirmation.

(3) Project Manager

Director General of DEPT or Deputy Director General of DEPT will be responsible for the management of the both Components of the Project as Project Manager. The Myanmar side agreed that it will inform JICA Myanmar office after confirmation.

(4) Component Managers

- 1) Deputy Director of Curriculum Section of DEPT will be responsible for the managerial and technical matters of the Project as Component Manager for "Curriculum, Textbook and Assessment Component".
- 2) Director of Local Training Section of DEPT will be responsible for the managerial and technical matters of the Project as Component Manager for "Teacher Education Component".

(5) Joint Coordinating Committee (JCC)

For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described below.

1) Functions

JCC is a steering body of the Project. JCC will meet at least once a year or whenever necessity arises. The main functions of the JCC are as follows:

- a. To formulate the annual plan of operation of the Project;
- b. To review the overall progress of the Project and achievement of the Project; and
- c. To identify issues that may arise during the implementation of the Project and to propose possible solutions.

2) Composition

- a. Chairperson : Deputy Minister (Basic Education) or Director General of DEPT (Project Director)
- b. Vice Chairperson: Director General of DEPT or Deputy Director General of DEPT (Project

Manager)

c. Members

Myanmar side

- Director General, Department of Education Research Bureau
- Director General, Department of Basic Education (1)
- Director General, Department of Basic Education (2)
- Director General, Department of Basic Education (3)
- Director General, Department of Myanmar Language Commission
- Representative, Subject-wise Committees
- Representative, Institute of Education
- Other representatives, if necessary

Japanese side

- Representatives of the Embassy of Japan in Myanmar
- Representatives of JICA Myanmar Office
- JICA Experts of the Project
- Other personnel concerned to be proposed by JICA as necessary

d. Secretariat:

- Deputy Director of Curriculum Section of DEPT (Component Manager)
- Director of Local Training Section of DEPT (Component Manager)

(6) Assignment of Counterpart personnel

1) For "Curriculum, Textbooks, and Assessment Component"

- The Myanmar side agreed that at least four (4) members for each subject including staff currently involved in curriculum review, should be selected based on the criteria described in ANNEX 5. The Team explained that considering the current level of experience that the staff of Curriculum Section of DEPT has, intensive capacity development for them is indispensable to produce the quality textbooks and teacher's guide. Therefore the Team requested the Myanmar side to assign the Counterparts (C/Ps) to work on a full-time basis. The Myanmar side agreed that they will assign the above C/Ps to work on a full-time basis for at least one (1) year starting from the commencement of the Project, and will consider how to assign C/Ps for the rest of the Project period based on experience and performance of the first year.
- Both sides confirmed that assignment of editing staff for textbooks, teacher's guides and assessment tools as shown in "Inputs by the Myanmar side" in ANNEX 2 by the Myanmar side is important.

2) For "Teacher Education Component"

Both sides also agreed that assignment of C/Ps for "Teacher Education Component" will be discussed after the Project starts.

5. Measures to be taken by the Japanese side before the commencement of the Project

The Team explained that measures to be taken by the Japanese side before the commencement of the Project are as follows;

- (1) Provision of technical assistance to promote the education reform process including CESR

process.

- (2) Provision of technical assistance for capacity development of curriculum developers.
- (3) Dispatch of subject experts (Social Studies, National Language, Music and Physical Educations) to conduct a curriculum seminar in August 2013.
- (4) Provision of a training program on curriculum development in Japan which will be held in November 2013 (for those who are currently involved in curriculum review in CESR Phase 2).

6. Measures to be taken by the Myanmar side before the commencement of the Project

- (1) The Myanmar side agreed to submit "Application Form for Japan's Technical Cooperation" of the Project to the Government of Japan by the end of July 2013.
- (2) The Myanmar side also agreed to provide information on the following items to JICA Myanmar Office by the end of July 2013.
 - 1) List of C/Ps for "Curriculum, Textbook and Assessment Component" as described in the above 4. (6).
 - 2) Revised version of the Project Design Matrix (PDM) as shown in ANNEX 2 and the Plan of Operation (PO) as shown in ANNEX 3 that will be adjusted to an official curriculum revision schedule, if necessary.

7. The Way Forward

Both sides agreed to take necessary measures to realize the tentative schedule as follows;

Date	Activities	Responsibility
End of Jul. 2013	<ul style="list-style-type: none">- Submission of "Application Form for Japan's Technical Cooperation" of the Project from the Government of Myanmar to Government of Japan- Submission of list of C/Ps for "Curriculum, Textbook and Assessment Component" (as described in 6.(2)1))- Assignment of Project Director and Project Manager- Submission of Revised version of the PDM and the PO (as described in 6.(2)2))	The Myanmar side
Jul. – Aug. 2013	Appraisal of the Project at JICA Headquarters	The Japanese side
Sep. 2013	Signing of the Record of Discussions (R/D)	Both sides
Oct. –Nov.2013	Selection for JICA Experts	The Japanese side
Early 2014	Commencement of the Project	Both sides

END

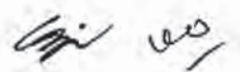
ANNEX 1: Framework of the Project

ANNEX 2: Draft of Project Design Matrix (PDM)

ANNEX 3: Subject Scope

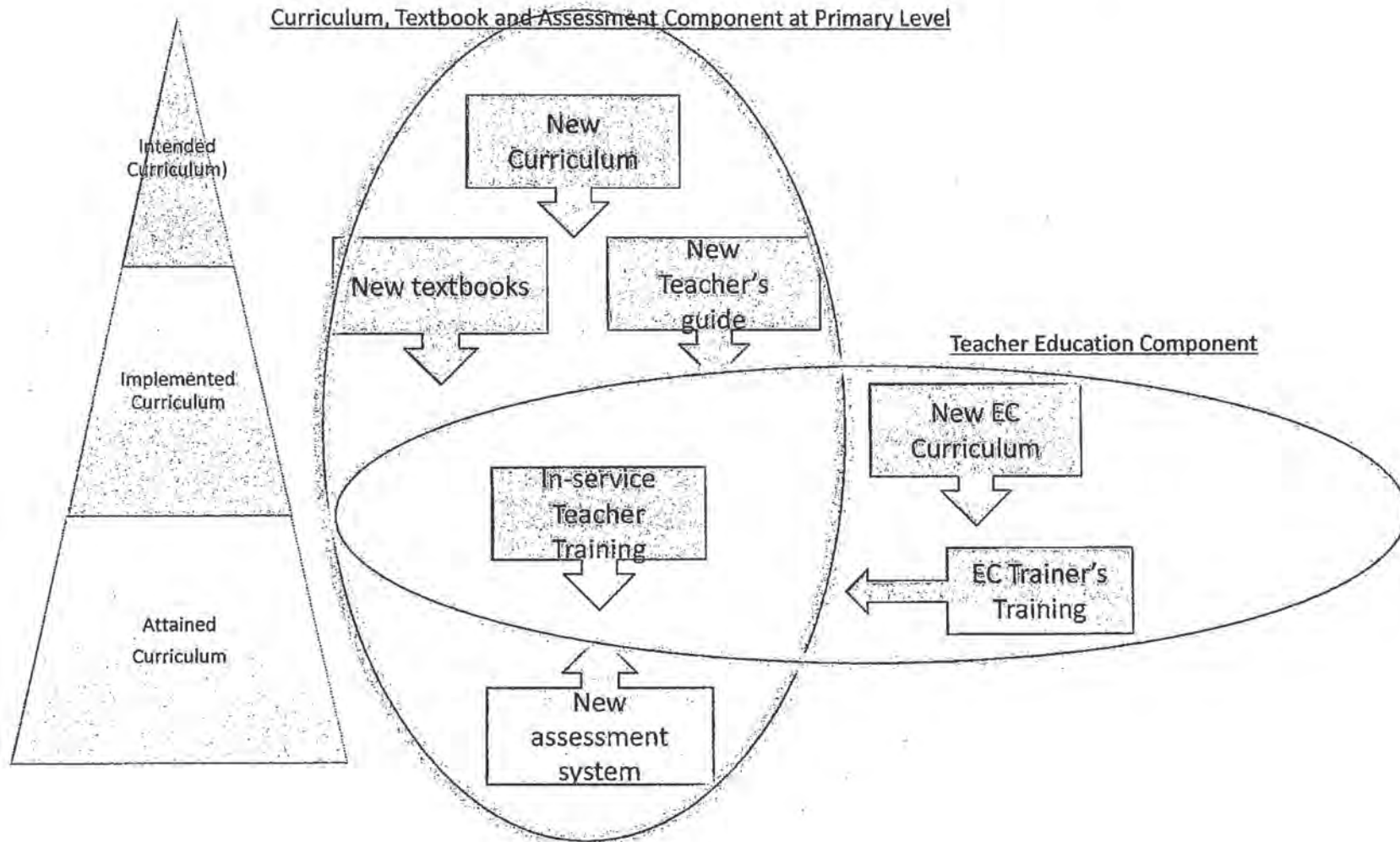
ANNEX 4: Draft of Plan of Operation (PO)

ANNEX 5: Criteria to select the members for Counterparts of “Curriculum, Textbook and Assessment Component”



ANNEX 1: Framework of the Project

Connecting “Curriculum-Lesson-Assessment”



Handwritten notes:
1/20/1

ANNEX 2: Draft of Project Design Matrix (PDM)

Project Title: The Project for Curriculum Reform at Primary Level of Basic Education
 Duration: 5 Years and X months (Early 2014 - June 2019: tentative)
 Target Group: (Direct) Those who are involved in curriculum revision, primary school teachers, Education College (EC) Trainers
 (Indirect) Pupils at primary level, EC trainees
 Target Subject: All subjects at Primary Level of Basic Education
 Target Area: Nationwide

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Super Goal Pupils' learning performance is improved in line with the new curriculum principle.	Results of analysis of national exam	MOE Report	
Overall Goal The new curriculum is implemented nationwide.	(1) The new school timetable is in use. (2) The new textbooks are in use. (3) Lesson is conducted in line with new curriculum. (4) The new assessment system is implemented. (5) The new EC curriculum is implemented.	MOE Report	(1) Teacher's teaching capacity is improved through Continuous Professional Development (CPD).
Project Purpose Educational activities in line with the new curriculum principles are implemented at the primary level of Basic Education Schools and Education Colleges.	(1) New school timetable is introduced according to the curriculum implementation plan. (2) The new textbooks, including draft version, is introduced according to the curriculum implementation plan. (3) Lesson is introduced in line with the new curriculum, according to the curriculum implementation plan. (4) The new assessment system is introduced according to the curriculum implementation plan. (5) The new curriculum for EC is introduced according to the curriculum implementation plan.	MOE Report	(1) Education Reform policy is maintained (2) All materials related to the new curriculum are distributed and used as planned.
Output 1: The new curriculum framework* is developed.	(1) The new curriculum framework is proposed. (2) The new curriculum framework is finalized by MOE.	MOE Report	(1) Proposed related documents are endorsed by MOE and utilized at school level as planned.
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.	(1) The new textbooks and the new teacher's guides are proposed. (2) The new textbooks and the new teacher's	MOE Report	(2) All administrative officers work in cooperation with the

Op

	guides are finalized by MOE.		Ministry of Education to expand new curriculum principle.
Output 3: The new assessment tools are developed.	(1) The question item bank (2) The guideline on how to utilize the question item bank	MOE Report	
Output 4: The new curriculum for EC is developed based on the new curriculum principle in line with teacher education policy.	(1) The new curriculum for EC is proposed. (2) The new curriculum for EC is finalized by MOE.	MOE Report	
Output 5: EC trainers are equipped with the new curriculum principle.	(1) Increment in score of training evaluation, comparing between pre and post-test.	Project report	
Output 6: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.	(1) A training package is developed. (2) Teacher training dissemination activities are conducted according to the government-set schedule.	MOE Report	
Activities	Inputs		(1) Appropriate number of counterparts continues to be assigned to the Project.
<p>1-1. Provide technical support to the formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means.</p> <p>1-2. Design a new course of study / a new set of areas of learning/ subject structure with clearly defined scope and sequence.</p> <p>1-3. Formulate aims and objectives for each area of learning.</p> <p>1-4. Select appropriate content (per grade) for each area of learning.</p> <p>1-5. Identify appropriate teaching-learning strategies for each area of learning.</p> <p>1-6. Adopt feasible assessment policy and guidelines and identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.</p> <p>2-1. Provide technical support to the formulation of new textbook and teacher's guide policy and strategy through CESR process and by other means.</p> <p>2-2. Define the range of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework.</p> <p>2-3. Define the textbook and teacher's guide development procedures.</p> <p>2-4. Edit new textbooks contents.</p> <p>2-5. Layout the illustration of textbooks.</p>	<p><u>Inputs by the Japanese side</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Experts (from Japan and the third countries) <ul style="list-style-type: none"> -Chief adviser/Curriculum policy -Curriculum development -Subject education (Language, Math, Science, Social Studies, Music, Physical education, if necessary others) -Textbook development and design -Assessment -Test development -Data analysis -Teacher Education -Teacher Training program -Lesson Improvement -Project coordinator/Administrator -Other experts (if necessary) • Cost for activities of JICA experts • Cost for seminars and workshops for capacity development for both Components, other than regular meetings • Cost for translation (English – Myanmar) other than cost for proofreading • PCs, printers, and other office equipment • Training in Japan and third countries 		

Op
2001

8

<p>2-6. Proofread the textbooks. 2-7. Edit new teacher's guide contents.</p>	<p><u>Inputs by the Myanmar side</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Director • Project Manager • Component Managers for both Components • Counterparts of both Components (subject Working Group) • Editing staff for textbooks, teacher's guides and assessment tools • Central and local education officers for conducting dissemination activities 	
<p>3-1. Provide technical support to the formulation of new assessment policy and strategy through CESR process by other means. 3-2. Develop a question item bank in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guide. 3-3. Develop the guideline on how to utilize the question item bank.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Cost for regular meetings for both Components • Assignment of a few primary schools and one EC for validation of new curriculum • Cost for proofreading in Myanmar language • Printing and distribution of final products of textbooks, teacher's guides and all related documents to education offices, schools, and students, • Printing and distribution of final products of Teacher Training for the new curriculum. • Cost for implementation of dissemination activities for the new curriculum to schools including in-service teacher training • Project office with its running cost 	
<p>4-1. Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means. 4-2. Analyze consistency between the new curriculum framework and the current EC curriculum. 4-3. Draft the new EC curriculum (teaching methodology subjects) based on the analysis (described in the activity 4-2) and the on-going teacher education reform. 4-4. Revise EC textbooks.</p>		
<p>5-1. Develop a training plan for EC trainers. 5-2. Conduct training. 5-3. Monitor and evaluate results of the training.</p>		
<p>6-1. Provide technical support to the formulation of dissemination strategy of the new curriculum through CESR process and by other means. 6-2. Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training. 6-3. Develop training/dissemination materials. 6-4. Promote the dissemination activities for the new curriculum.</p>		<p><u>Pre-Conditions</u></p> <p>(1) Curriculum reform policy is maintained</p> <p>(2) Appropriate number of counterparts is assigned to the Project.</p> <p>(3) Necessary budget for introducing the new curriculum is costed by MOE.</p>

*Definition of "Curriculum Framework" will be confirmed later.

10/1

10/1

ANNEX 3: Subject Scope

Subject	Capacity development on Curriculum	Products					Products and training	
		Curriculum Framework (Follow-up of CESR)	Textbooks	Teacher's guides	Assessment Tools	EC Curriculum (Teaching methodology subjects)	In-service Teacher Training Plan and materials for dissemination	EC trainer's training Plan and materials (for Teaching methodology subjects)
Myanmar	A	A	B	B	B	B	B	B
Math			A	A	A	A	A	A
English			B	B	B	B	B	B
General Study (G1-3)								
Natural Science			A	A	A	A	A	A
Moral and Civics			B	B	B	B	B	B
Life Skill			None	None	None	None	None	None
Basic Science (G4-5)			A	A	A	A	A	A
Social Study (G4-5)								
History			A	A	A	A	A	A
Geography			A	A	A	A	A	A
Moral and Civics			B	B	B	B	B	B
Life Skill			None	None	None	None	None	None
Physical Education			B	B	B	B	B	B
Aesthetic Education (Arts and Music)			B	B	B	B	B	B
Agriculture	B	B	B	B	B	B		

"Capacity development on Curriculum" consists of all issues related to curriculum revision, such as "Textbook review", "Curriculum Framework", "General rule of curriculum", "How to bring rules into operation", "Scope and Sequence", "Assessment", depending on technical necessity of the Myanmar side.

A: Long-term experts will be dispatched to provide intensive capacity development on subject matters and to check the quality of outputs.

B: Short-term experts will be dispatched to provide capacity development on subject matters but the Myanmar side will check the quality of outputs.

*If a curriculum framework is modified through CESR Phase 2, the Project scope on subject will be discussed and redefined.

ANNEX 4: Draft of Plan of Operation (PO)

Year	Month	2014												2015												2016											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Curriculum Revision Process by the Myanmar side		Printing G1												Distribution G1												Printing G2											
Output 1: The new curriculum framework is developed.																																					
1-1	Provide technical support to formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means.																																				
1-2	Design a new course of study / a new set of areas of learning/ subject structure with clearly defined scope and sequence.																																				
1-3	Formulate aims and objectives for each area of learning.																																				
1-4	Select appropriate content (per grade) for each area of learning.																																				
1-5	Identify appropriate teaching-learning strategies for each area of learning.																																				
1-6	Adopt feasible assessment policy and guidelines and identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.																																				
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.																																					
2-1	Provide technical support to the formulation of new textbook and teacher's guide policy and strategy through CESR process and by other means.																																				
2-2	Define the range of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework.																																				
2-3	Define the textbook and teacher's guide development procedure.																																				
2-4	Edit new textbooks contents.	G1: Myanmar, Math, General Study				G2: Core-subjects				G3: Core-subjects				G4: Core-subjects																							
2-5	Layout the illustration of textbooks.	G1: Myanmar, Math, General Study				G2: Core-subjects				G3: Core-subjects				G4: Core-subjects																							
2-6	Proofread the textbooks.	G1: Myanmar, Math, General Study				G2: Core-subjects				G3: Co-sub.				G4: Core-subjects																							
2-7	Edit new teacher's guidebook contents.	G1: Myanmar, Math, General Study				G2: Core-subjects				G3: Core-subjects				G4: Core-subjects																							
Output 3: The new assessment tools are developed.																																					
3-1	Provide technical support to the formation of new assessment policy and strategy through CESR process and by other means.																																				
3-2	Develop a question item bank in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guide.	G1: Myanmar, Math, General Study				G2: Co-subjects				G3: Core-sub.				G4: Core-sub.																							
3-3	Develop the guideline on how to utilize the question item bank.																																				
Output 4: The new EC curriculum is developed based on the new curriculum principle in line with teacher education policy.																																					
4-1	Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.																																				
4-2	Analyze consistency between the new curriculum framework and the current EC curriculum.	G1: Core-subject				G2: Core-sub.				G3: Core-sub.				G4: Core-sub.																							
4-3	Draft EC curriculum (teaching methodology subjects) based on the analysis (activity 4-2) and the on-going teacher education reform.	G1: Core-subject				G2: Core-sub.				G3: Core-sub.				G4: Core-sub.																							
4-4	Revise EC textbooks.																																				
Output 5: EC trainers are equipped with the new curriculum framework.																																					
5-1	Develop a training plan for EC trainers.	G1: Core-subject				G2: Core-sub.				G3: Core-sub.				G4: Core-sub.																							
5-2	Conduct training.	G1: Core-subject				G2: Core-sub.				G3: Co-sub.				G4: Core-sub.																							
5-3	Monitor and evaluate results of the training.	G1: Core-subject				G2: Core-sub.				G3: Co-sub.				G4: Core-sub.																							
Output 6: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.																																					
6-1	Provide technical support to dissemination process strategy of the new curriculum through CESR process and by other means. (After defining new dissemination)																																				
6-2	Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.	G1: Core-subject				G2: Core-sub.				G3: Core-sub.				G4: Core-sub.																							
6-3	Develop training/dissemination materials.	G1: Core-sub.				G2: Core-sub.				G3: Co-sub.				G4: Core-sub.																							
6-4	Promote the dissemination activities for the new curriculum.	G1: Core-subject				G2: Core-sub.				G3: Co-sub.				G4: Core-sub.																							

Handwritten mark

Handwritten marks

ANNEX 4: Draft of Plan of Operation (PO)

Year	Month	2017												2018												2019																																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																								
Curriculum Revision Process by the Myanmar side		Distribution G3				Implementation G3				Printing G4				Distribution G4				Implementation G4				Printing G5				Distribution G5				Implementation G5																															
Output 1: The new curriculum framework is developed.																																																													
1-1	Provide technical support to formulation of the new curriculum policy and strategy through CESR process and by other means.	[Shaded]																																																											
1-2	Design a new course of study / a new set of areas of learning/ subject structure with clearly defined scope and sequence.																																																												
1-3	Formulate aims and objectives for each area of learning.																																																												
1-4	Select appropriate content (per grade) for each area of learning.																																																												
1-5	Identify appropriate teaching-learning strategies for each area of learning.																																																												
1-6	Adopt feasible assessment policy and guidelines and identify applicable strategies/techniques for assessing pupils' achievement.																																																												
Output 2: The new textbooks and teacher's guides are developed.																																																													
2-1	Provide technical support to the formulation of new textbook and teacher's guide policy and strategy through CESR process and by other means.	[Shaded]																																																											
2-2	Define the range of contents of textbook per grade based on the new curriculum framework.																																																												
2-3	Define the textbook and teacher's guide development procedure.																																																												
2-4	Edit new textbooks contents.	G4 Core-subjects				G4 Co-subjects				G5 Core-subjects				G5 Co-subjects																																															
2-5	Layout the illustration of textbooks.	G4 Core-subjects				G4				G5 Core-subjects				G5																																															
2-6	Proofread the textbooks.	G4				G4 Core-subjects				G5				G5 Core-subjects				G5																																											
2-7	Edit new teacher's guidebook contents.	G4 Core-subjects				G4				G5 Core-subjects				G5																																															
Output 3: The new assessment tools are developed.																																																													
3-1	Provide technical support to the formation of new assessment policy and strategy through CESR process and by other means.	[Shaded]																																																											
3-2	Develop a question item bank in line with the new curriculum principles, a part of which will be included in teacher's guide.																																																												
3-3	Develop the guideline on how to utilize the question item bank.																																																												
Output 4: The new EC curriculum is developed based on the new curriculum principle in line with teacher education policy.																																																													
4-1	Provide technical support to the formulation of new teacher education policy and strategy through CESR process and by other means.	[Shaded]																																																											
4-2	Analyze consistency between the new curriculum framework and the current EC curriculum.	G4				G4				G5				G5																																															
4-3	Draft EC curriculum (teaching methodology subjects) based on the analysis (activity 4-2) and the on-going teacher education reform.	G4				G4				G5				G5																																															
4-4	Revise EC textbooks.	G4				G4				G5				G5																																															
Output 5: EC trainers are equipped with the new curriculum framework.																																																													
5-1	Develop a training plan for EC trainers.	G4				G4				G5				G5																																															
5-2	Conduct training.	G3 Core-sub				G3 Co-sub				G4				G4				G5				G5																																							
5-3	Monitor and evaluate results of the training.	G3 Core-sub				G3 Co-sub				G4				G4				G5				G5																																							
Output 6: Dissemination activities of the new curriculum are introduced.																																																													
6-1	Provide technical support to dissemination process strategy of the new curriculum through CESR process and by other means. (After defining new dissemination)	[Shaded]																																																											
6-2	Develop a detail plan to disseminate the new curriculum through in-service teacher training.	G4				G4				G5				G5																																															
6-3	Develop training/dissemination materials.	G4				G4				G5				G5																																															
6-4	Promote the dissemination activities for the new curriculum.	G3 Core-sub				G3 Co-sub				G4				G4				G5				G5																																							

Handwritten mark

Handwritten mark

Handwritten mark

ANNEX5: Criteria to select the members for Counterparts of “Curriculum, Textbook and Assessment Component”

1. At least four (4) members for each subject Working Group (hereinafter referred to as "WG") shall be assigned.
2. The subject WG shall consist of representatives from each organization as follows:
 - 1) 1-2 members from DEPT curriculum staff
 - 2) 1-2 members from Education College trainers
 - 3) 1-2 members from Primary and/or lower secondary school teachers
3. The above members shall have full-time assignment for at least one (1) year after the Project starts.
4. Criteria to select the members
 - 1) Priorities shall be given to those who are assigned for CESR Phase 2 curriculum review.
 - 2) Those with experiences on curriculum development or curriculum review in the past.
 - 3) Those with basic knowledge of curriculum such as design, dimension, structure, recent world trend, assessment and evaluation.
 - 4) Those with a deep pedagogical knowledge of a particular subject.

END



